

令和 4 年度釜石市民買物行動調査 集計結果報告書

令和 4 年 1 2 月

釜 石 市

釜石市民買物行動調査 目次

調査概要	1
調査結果	
1. 回答者の基本情報	2
(1) 性別	
(2) 年齢	
(3) 職業	
(4) 家族構成	
(5) 居住地区	
(6) 買い物へ行く主な手段	
(7) 携帯電話の種類	
2. よく買い物をする地域	
■地元購買率・市外流出率	6
■品目別地元購買率、品目別購買地区	8
■各種区分別地元購買率	9
3. 市外へ買い物に出かける頻度	10
4. インターネットの利用について	11
5. キャッシュレス決済の利用について	13
6. 買い物環境に感じること	18
7. 買物弱者の支援策について	20
8. 市内の買い物環境に思うことなど（自由記述）	21
調査票様式	29

令和4年度釜石市民買物行動調査 調査概要

1 調査目的

釜石市では、震災からの復興により市内店舗や道路などの買物環境が大きく変化するとともに、近年では通信販売やキャッシュレス決済の普及、新型コロナウイルス感染症の流行などにより市民の買物行動も大きく変化している。

このよう中、市民の買物行動の変化について調査・分析を行い、今後の商業活性化施策への反映と消費者のより良い買物環境づくりに向けた基礎資料を得るため調査を行った。

(第1回調査：平成26年10月に室蘭工業大学の協力を得て実施)

(第2回調査：平成28年10月、第3回調査：平成30年10月、第4回(前回)調査：令和2年10月に実施)

2 調査概要

(1) 実施主体 釜石市

(2) 方法 住民基本台帳から地区別・年齢別に任意に抽出し、郵送により調査

(3) 対象 釜石市に居住する18歳以上79歳以下の市民1,000人

(4) 調査品目 買物11品目(実用衣料、高級衣料、下着類、くつ・かばん、家具・インテリア、スポーツ・娯楽用品、書籍雑誌・CD、日用品・台所用品、家電製品、医薬品・化粧品、食料品)及び外食・喫茶

(5) 期間 令和4年8月1日(月)～8月31日(水)

(6) 回収結果

配布数 1,000通 回収数 421通 回収率 42.1%

有効数 421通 有効率 42.1%(前回51.3%)

3 主な調査内容

(1) 基本情報について(性別、年齢、職業、家族構成、居住地区、交通手段、携帯電話の種類)

(2) よく買い物する地域について

(3) 市外へ買い物に出かける頻度について

(4) インターネットの利用について

(5) キャッシュレス決済の利用について

(6) 買い物環境に感じることについて

(7) 買物弱者の支援策について

4 調査結果

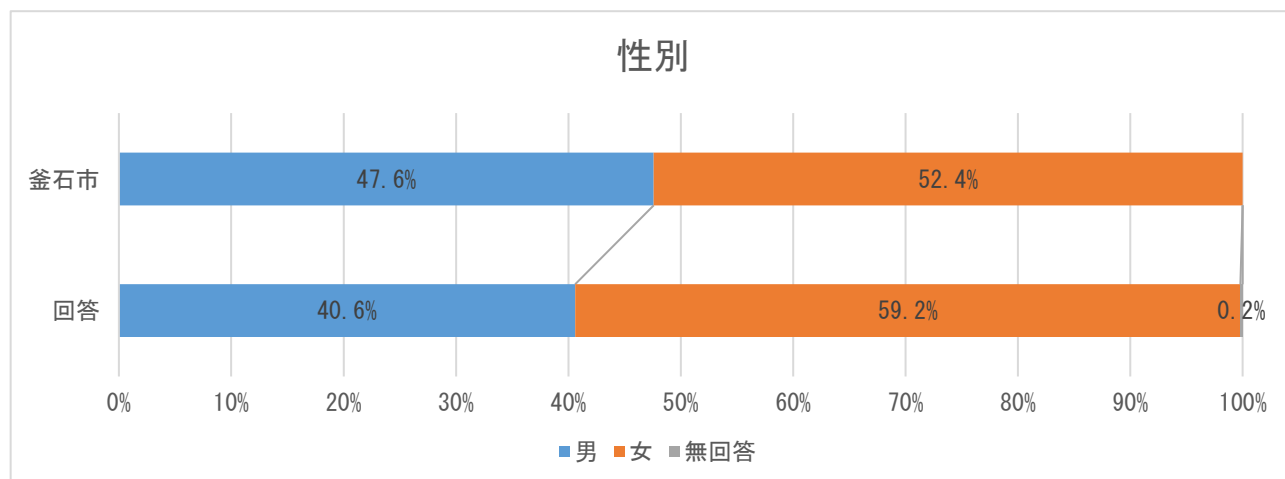
調査結果を次頁以降に示す

令和4年度釜石市民買物行動調査 結果

■質問1：基本情報

(1) 性別

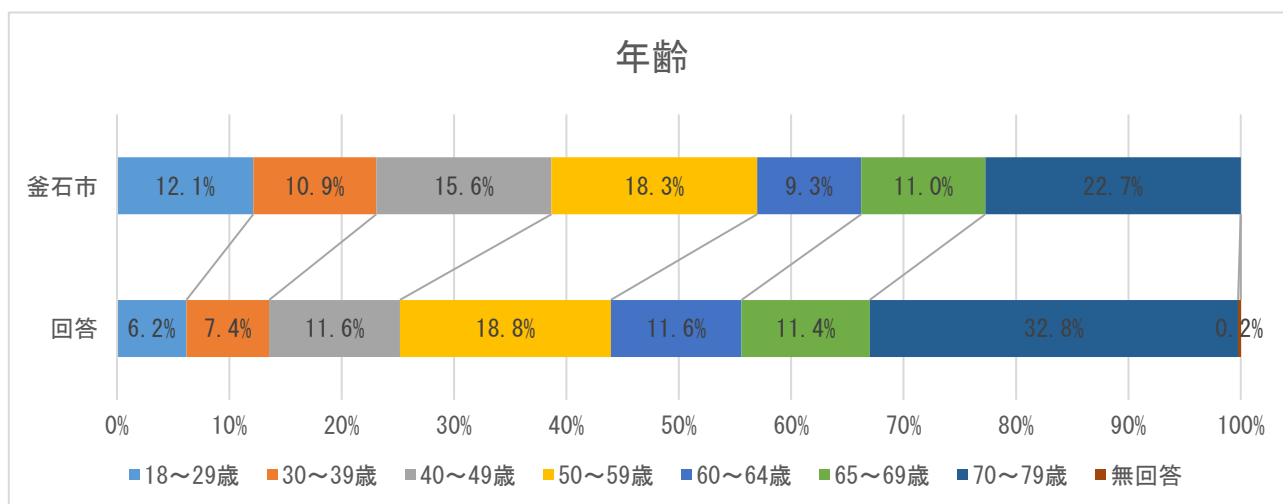
調査回答では男性 40.6%、女性 59.2%で女性の回答が約6割を占めている。釜石市全体の男女構成比は男性 47.6%、女性 52.4%のため母集団（釜石市全体の数）よりも女性比率の高い標本になっている。



(2) 年齢

各年代の配布数は、令和4年5月末現在の住民基本台帳人口の人口構成をもとに算出している。

各年代の回収率から、標本は母集団と比較して、18～49歳が少なく、50～69歳の割合が同程度、70～79歳が多くなっており、このことから調査結果は年齢が高い層の意見が比較的強く反映される構成になっている。

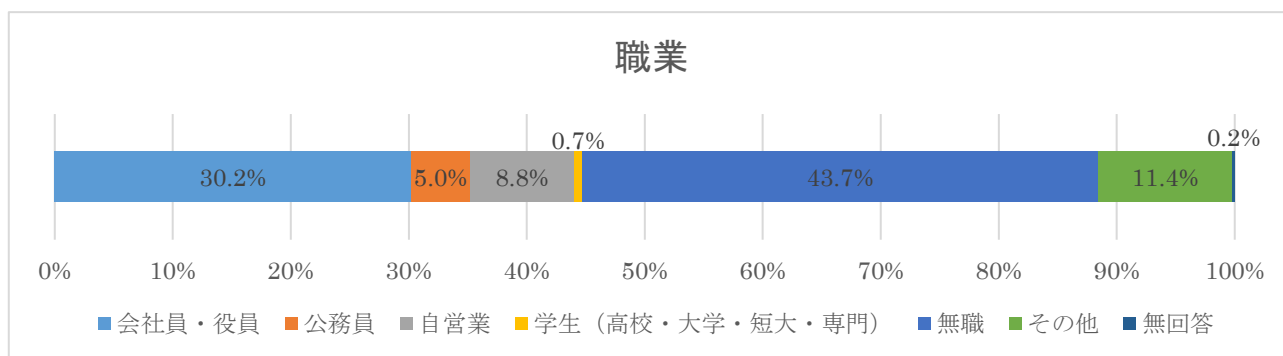


※年齢別の配布数・回収率は以下の表のとおり。

	18～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳代	無回答	合計
配布数	120	99	180	196	90	102	213		1000
回答数	26	31	49	79	49	48	138	1	421
回収率	21.7%	31.3%	27.2%	40.3%	54.4%	47.1%	64.8%		42.1%

(3) 職業

職業の回答の割合は以下のとおり。「その他」の内訳は、パート・アルバイト、専門職等の就労者であった。

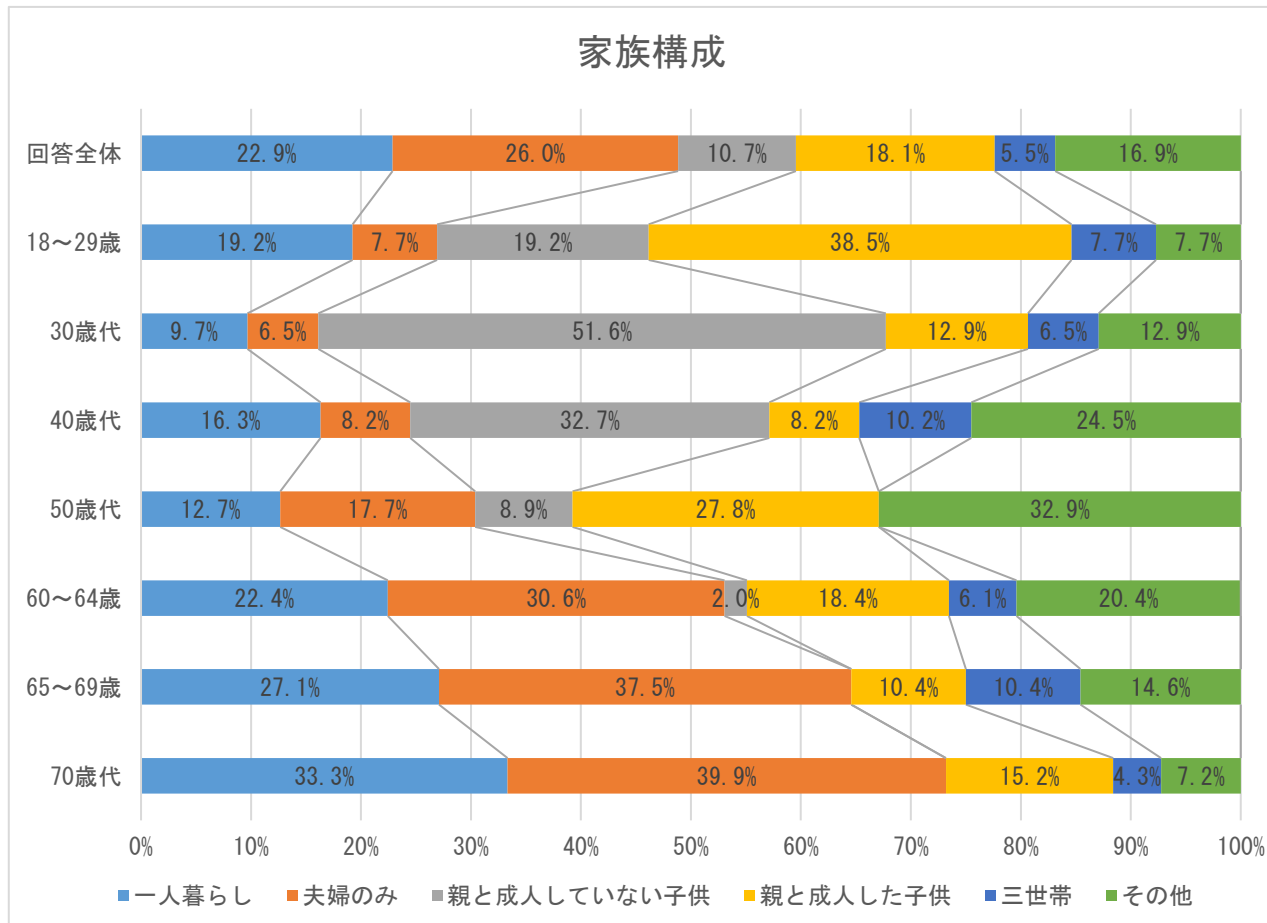


※年齢別「無職（主夫/主婦含む）」の回答数・割合は以下の表のとおり。

	18～29 歳	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60～64 歳	65～69 歳	70 歳代	合計
回答数	4/26	2/31	4/49	16/79	15/49	30/48	112/138	183/421
割合	15.4%	3.2%	8.2%	19.0%	30.6%	62.5%	79.7%	43.5%

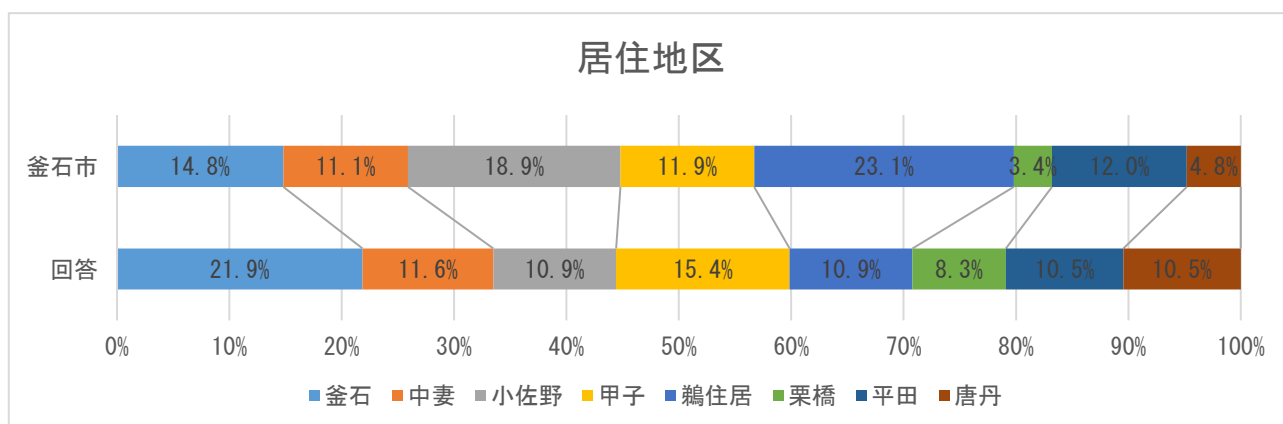
(4) 家族構成

家族構成の回答の割合は以下のグラフのとおり。



（５）居住地区

各居住地区への配布数は、令和４年５月末現在の住民基本台帳人口をもとに算出している。但し、各地区の配布数は１００を下限として調整を行った。

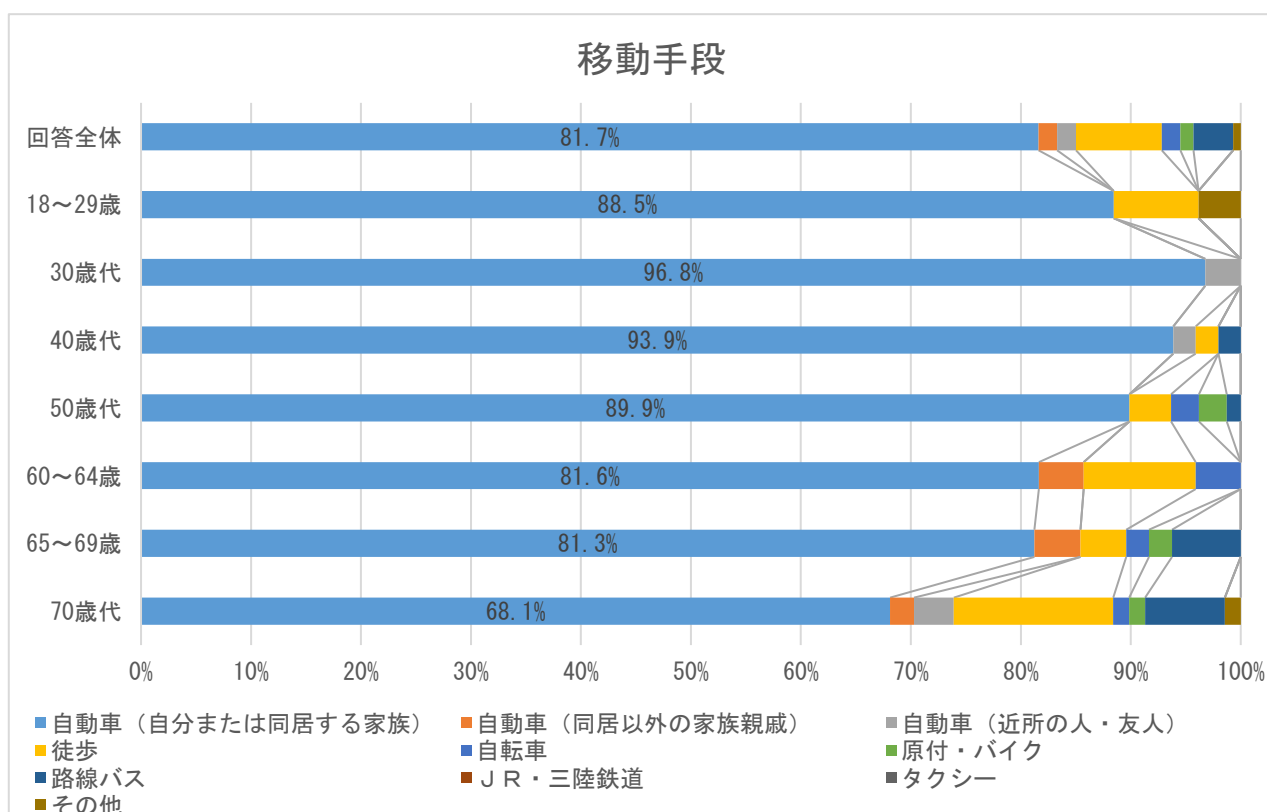


※居住地区別の配布数・回収率は以下の表のとおり。

地区	釜石	中妻	小佐野	甲子	鵜住居	栗橋	平田	唐丹	無回答	全体
配布数	150	120	150	150	120	100	110	100		1,000
有効回収数	92	49	46	65	46	35	44	44	0	421
回収率	61.3%	40.8%	30.7%	43.3%	38.3%	35.0%	40.0%	44.0%		42.1%

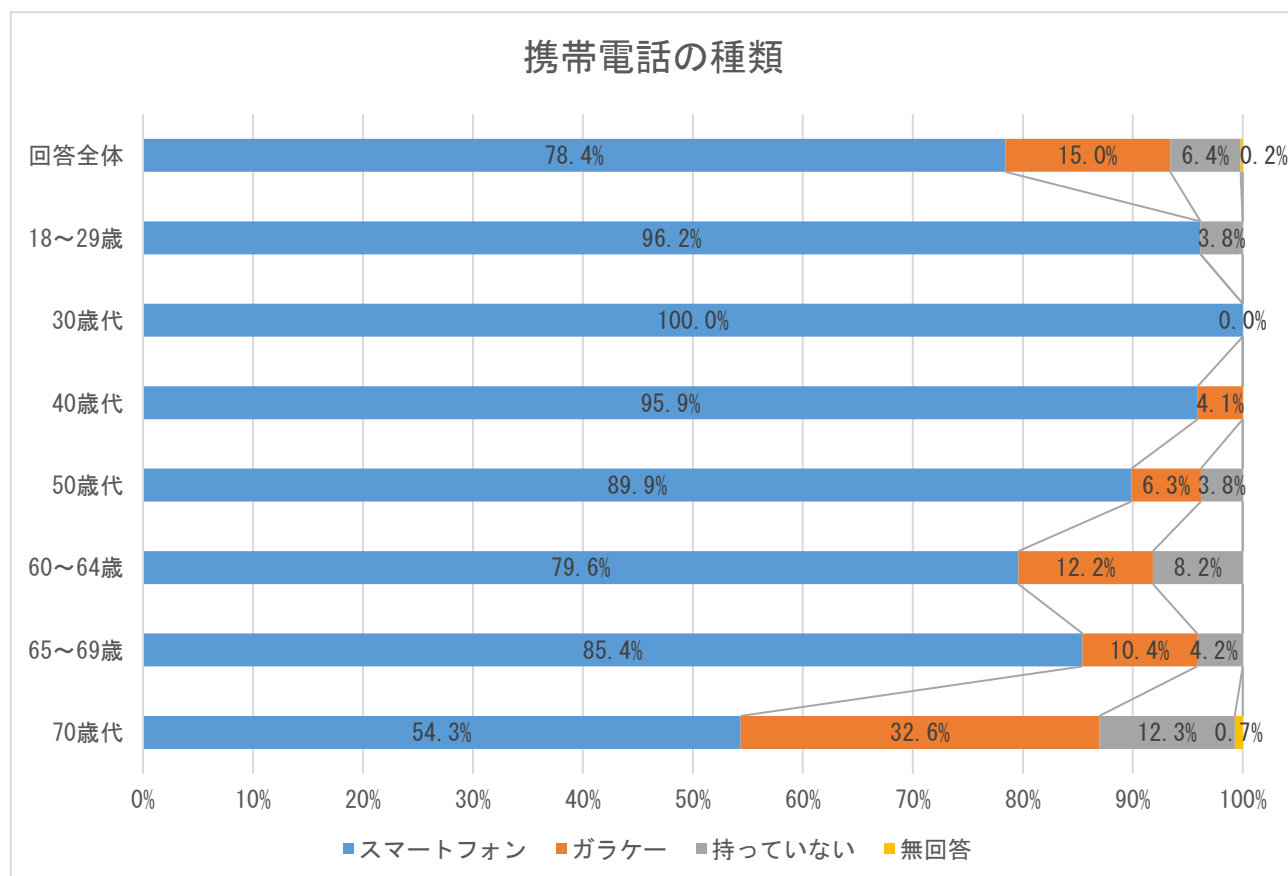
（６）買い物へ行く主な手段

全体の回答割合は、「自動車（自分または同居する家族）」81.7%、「自動車（同居以外の家族親戚）」2.2%、「自動車（近所の人・友人）」3.6%、「徒歩」14.5%、「自転車」1.4%、「原付・バイク」1.4%、路線バス7.2%、「ＪＲ・三陸鉄道」0%、「タクシー」0%、その他1.4%となった。各年代での割合は以下のグラフのとおり。どの年代においても「ＪＲ・三陸鉄道」「タクシー」を選択した回答はなかった。



（７）携帯電話の種類

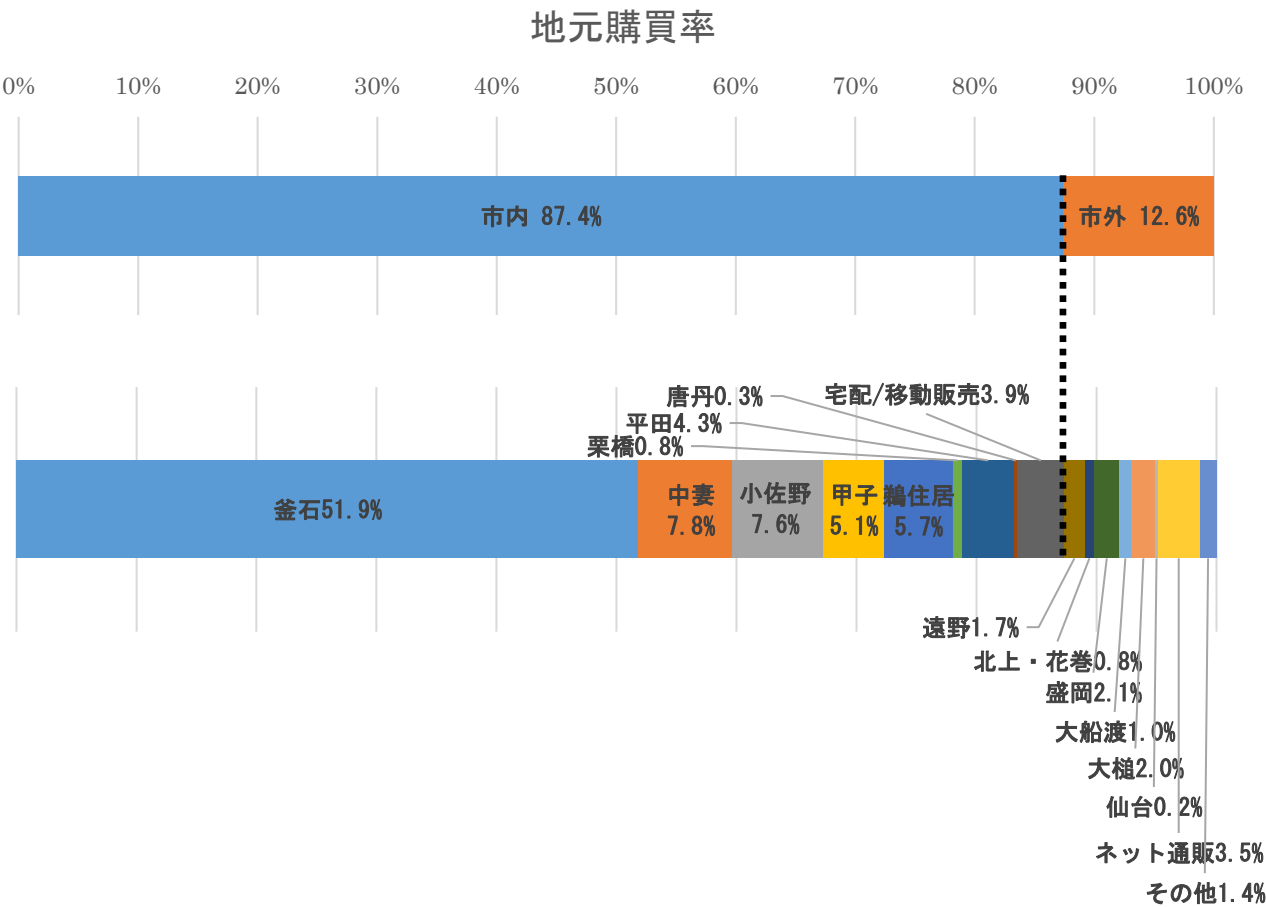
所有する携帯電話の種類の割合は以下のグラフのとおり。デジタル地域通貨を活用した支援策を実施する自治体が増えてきているが、当市ではスマートフォンを活用しての支援策は、70 歳代以上では半数以上を取り込めないことが予想される。なお、「ガラケー」と呼ばれる旧来型の携帯電話で主に使われる「3G」回線のサービス提供は、KDDI が令和4年3月に終了済み、ソフトバンクが令和6年1月末、NTTドコモが令和8年3月末に終了予定となっているため、徐々に携帯電話端末の移行自体は進むものと考えられる。



■質問２：よく買い物をする地域

調査対象１２品目のうち、「外食・喫茶」を除いた買物１１品目で地元購買率・流出率、地域ごとの購買率を算出すると下のグラフのとおりとなった。

今回調査から選択肢に「生協などの地域業者の宅配/居住地区の移動販売」、「仙台市」、「インターネット通販」を追加しているため、前回調査から数値は単純には接続しないが、前回調査では地元購買率が84.8%、市外への流出率が15.2%のところ、今回調査では地元購買率87.4%、市外への流出率12.6%となり、地元購買率が2.6ポイント上昇している。



平成１５年以降の地元購買率の推移は以下のとおり。

【地元購買率の推移】		
調査年	購買率	適用
平成15年	79.2%	岩手県広域購買消費動向調査
平成20年	78.7%	岩手県広域購買消費動向調査
平成26年	91.8%	釜石市買物行動調査（室蘭工業大学協力・他調査との接続なし）
平成28年	83.3%	釜石市買物行動調査（内容改訂・平成20年調査に接続）
平成30年	82.1%	釜石市買物行動調査
令和2年	84.8%	釜石市買物行動調査
令和4年	87.4%	釜石市買物行動調査（内容改訂）

地元購買率を品目別に前回調査と比較すると以下の表のとおりとなった。「下着類」「日用品・台所用品」「食料品」を除く全ての品目で地元購買率が低下しているものの、支出のウェイトにおいて高い割合を占める「食料品」で地元購買率が上昇しているため、全体としては地元購買率がプラスとなっている。

	実用衣料	高級衣料	下着類	くつ・かばん	家具・インテリア	スポーツ・娯楽用品	書籍雑誌・CD	日用品・台所用品	家電製品	医薬品・化粧品	食料品	計	外食・喫茶
前回(R2)	64.4%	37.2%	64.6%	53.7%	41.7%	59.1%	69.5%	90.8%	78.6%	90.9%	89.7%	84.8%	71.8%
今回調査	63.4%	22.6%	69.0%	49.1%	28.4%	43.6%	64.2%	92.6%	73.9%	89.0%	94.0%	87.4%	68.4%
前回比	-1.0%	-14.6%	4.4%	-4.6%	-13.3%	-15.5%	-5.3%	1.8%	-4.7%	-1.9%	4.3%	2.6%	-3.4%

※購買率の算出に当たっては令和3年の家計調査年報による一世帯あたりの年間支出額で加重平均している。新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要の拡大からか、前回調査に比べて衣類、くつ・かばん等のウェイトが減少し、家電製品、食料品等のウェイトが増加している。食料品は全体に占める比重が大きいため、食料品のウェイトが増加したことも地元購買率の上昇幅に影響を与えているものと考えられ、令和元年家計調査年報によるウェイトで購買率を算出した場合、地元購買率は86.7%となり上昇幅は1.9ポイントとなる。(品目ごとのウェイトは、次のとおり。()内は令和元年時ウェイト)

品目	ウェイト	品目	ウェイト
実用衣料	4.3 (5.5)	書籍雑誌・CD	1.5 (1.4)
高級衣料	0.9 (1.4)	日用品・台所用品	5.3 (5.0)
下着類	1.2 (1.3)	家電製品	5.3 (4.9)
くつ・かばん	1.5 (1.9)	医薬品・化粧品	10.2 (10.1)
家具・インテリア	1.9 (1.9)	食料品	64.9 (63.5)
スポーツ・娯楽用品	3.0 (3.1)	計	100.0

各品目の購買地区分布は下の表のとおりとなった。

- ・（品目別地元購買率）「日用品・台所用品」「食料品」で9割を超えたほか、「医薬品・化粧品」は約9割となっている。一方で、「高級衣料」「家具・インテリア」の流出率が7割を超え、「くつ・かばん」「スポーツ・娯楽用品」でも5割以上と高めとなっている。
- ・（品目別市内購買地区）市内ではどの品目でも「釜石地区」が最も多い。
- ・（品目別市外購買地区）「高級衣料」を除く全ての品目で「インターネット通販」が最も多く、「高級衣料」のみ「盛岡市」が最も多い。

	実用衣料	高級衣料	下着類	くつ・かばん	家具・インテリア	スポーツ・娯楽用品	書籍雑誌・CD	日用品・台所用品	家電製品	医薬品・化粧品	食料品	計	外食・喫茶
釜石地区	52.2%	19.5%	56.0%	38.7%	22.3%	40.1%	56.3%	56.2%	67.9%	50.0%	52.3%	51.9%	55.3%
中妻地区	0.9%	0.7%	2.9%	6.4%	4.7%	2.1%	4.1%	11.8%	3.6%	10.2%	8.3%	7.8%	9.6%
小佐野地区	2.0%	0.7%	3.7%	0.3%	0.0%	0.0%	2.8%	9.4%	0.0%	11.3%	8.5%	7.6%	1.9%
甲子地区	3.5%	0.7%	1.1%	0.9%	0.0%	0.3%	0.0%	2.2%	0.0%	2.0%	6.8%	5.1%	0.6%
鶴住居地区	0.3%	0.0%	1.1%	0.3%	0.0%	0.0%	0.3%	6.6%	1.5%	8.4%	6.5%	5.7%	1.0%
栗橋地区	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%	0.3%	0.3%	0.3%	0.8%	0.3%	0.3%	1.0%	0.8%	0.0%
平田地区	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	4.9%	5.3%	4.3%	0.0%
唐丹地区	0.3%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.6%	0.3%	0.3%	0.3%	0.0%
生協等の地域業者の宅配/居住地区の移動販売	3.5%	1.0%	2.9%	2.1%	0.7%	0.7%	0.3%	1.9%	0.0%	1.5%	5.0%	3.9%	0.0%
市内	63.4%	22.6%	69.0%	49.1%	28.4%	43.6%	64.2%	92.6%	73.9%	89.0%	94.0%	87.4%	68.4%
遠野市	5.2%	0.7%	5.7%	1.5%	0.7%	0.3%	0.0%	0.6%	1.8%	0.3%	1.8%	1.7%	1.0%
北上市・花巻市	3.5%	3.8%	2.0%	3.1%	12.2%	3.1%	2.2%	1.1%	1.2%	0.6%	0.3%	0.8%	8.0%
盛岡市	8.9%	33.8%	4.0%	18.1%	22.3%	17.6%	2.8%	0.6%	4.8%	1.7%	0.0%	2.1%	9.9%
大船渡市	1.7%	1.7%	2.3%	1.2%	1.0%	0.7%	0.9%	1.4%	0.3%	1.2%	1.0%	1.0%	2.9%
大槌町	1.7%	0.3%	1.7%	0.9%	4.1%	0.3%	0.9%	3.0%	0.0%	0.9%	2.3%	2.0%	1.0%
仙台市	0.6%	3.8%	0.3%	1.8%	0.7%	0.7%	0.6%	0.0%	0.3%	0.3%	0.0%	0.2%	0.6%
インターネット通販	12.4%	20.2%	12.4%	19.3%	22.3%	24.6%	24.1%	0.3%	15.2%	5.8%	0.0%	3.5%	0.0%
その他	2.6%	12.9%	2.6%	4.9%	8.4%	9.0%	4.1%	0.6%	2.4%	0.3%	0.8%	1.4%	8.3%
市外	36.6%	77.4%	31.0%	50.9%	71.6%	56.4%	35.8%	7.4%	26.1%	11.0%	6.0%	12.6%	31.6%

地元購買率について質問１の項目と照らし合わせると次の表のとおりとなった。市外への流出率が高い主な区分は、年齢「20歳～29歳」、居住地区「栗橋」であった。

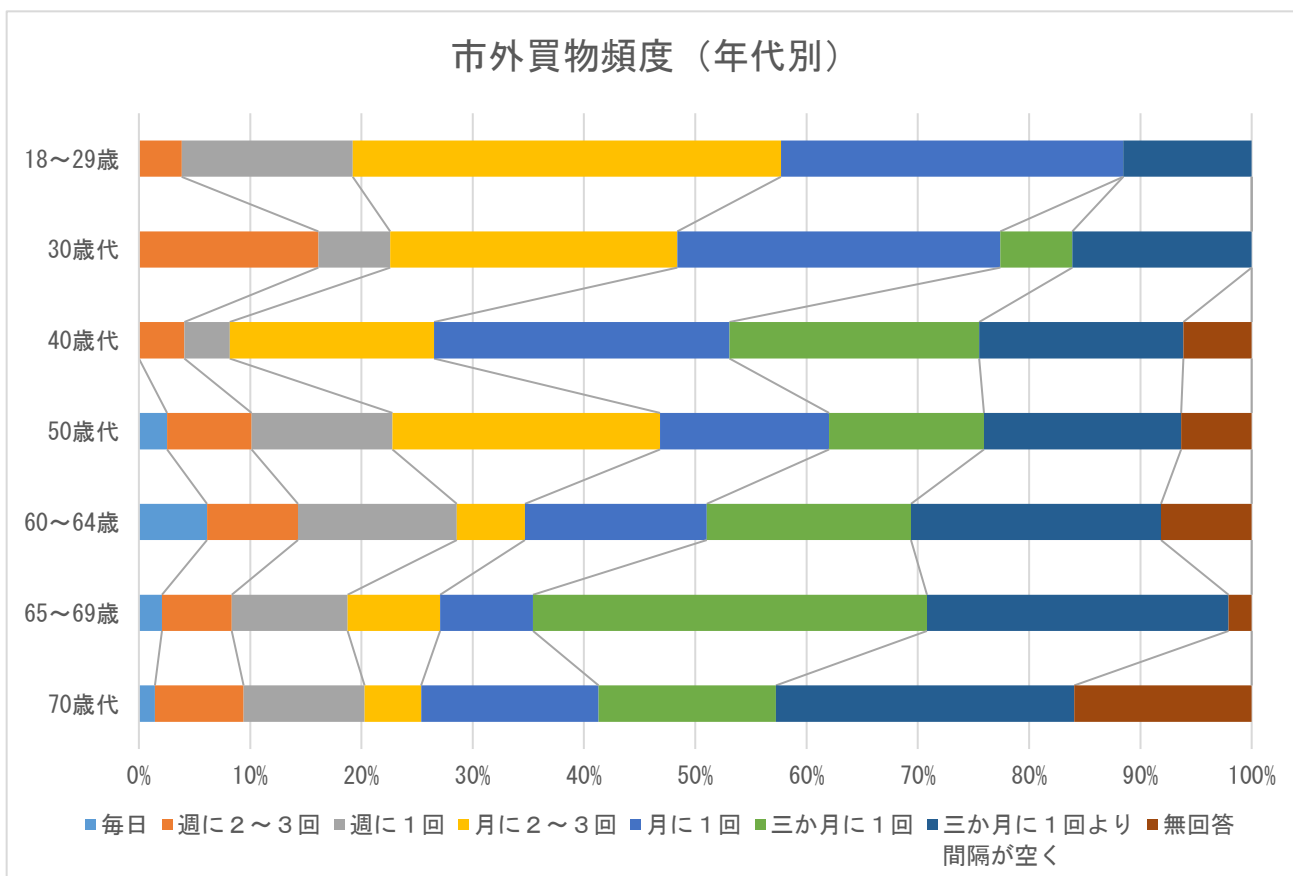
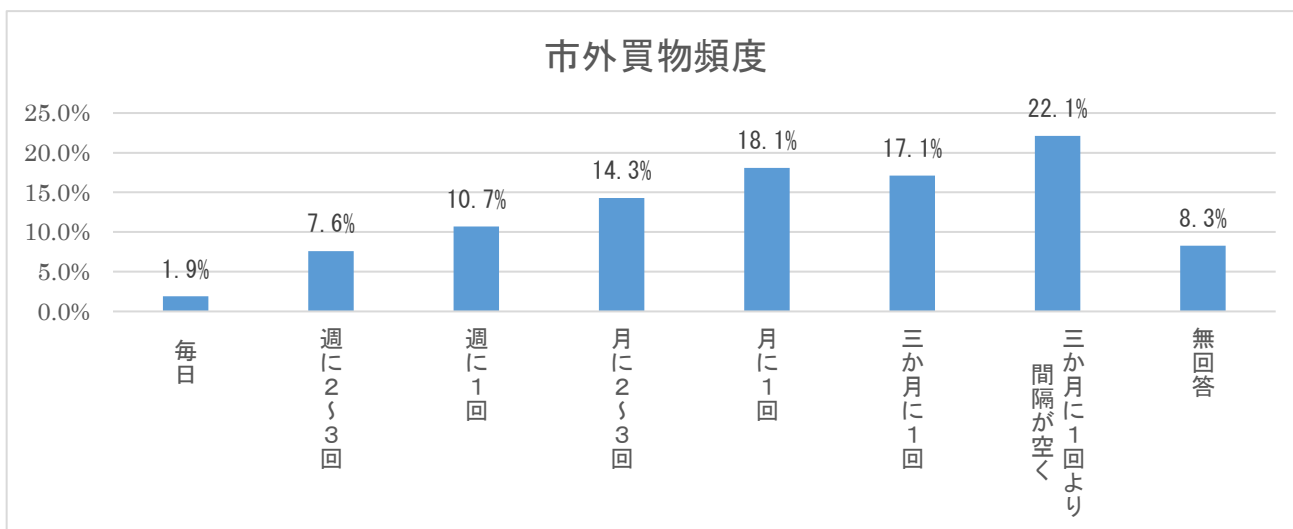
全体の市内購買率が上昇しているため、各区分で全体的に前回調査より市内割合が上昇しているものが多いが、居住地区区分では「中妻」「鶴住居」が前回調査に比べて市内購買率の上昇幅が大きく、ともに4.8ポイント上昇している。一方で、年齢区分「18歳～19歳」「20歳～29歳」では市内購買率の数値が減少し、市外への流出率が高まっている。

(参考) 全体 市内割合：市外割合＝87.4％：12.6％

区分		回答数	市内	市外	区分		回答数	市内	市外
性別	男性	171	88.2%	11.8%	居住地区	釜石	91	91.3%	8.7%
	女性	248	86.8%	13.2%		中妻	49	91.4%	8.6%
年齢	18～19	2	90.6%	9.4%		小佐野	46	89.2%	10.8%
	20～29	24	77.6%	22.4%		甲子	65	87.7%	12.3%
	30～39	31	85.7%	14.3%		鶴住居	46	83.2%	16.8%
	40～49	49	87.1%	12.9%		栗橋	35	72.7%	27.3%
	50～59	79	81.7%	18.3%		平田	44	90.0%	10.0%
	60～64	49	87.1%	12.9%		唐丹	44	86.3%	13.7%
	65～69	47	88.3%	11.7%	買い物へ行く主な手段	自動車(自分/同居家族)	343	86.7%	13.3%
	70～79	138	93.5%	6.5%		自動車(同居外の家族親戚)	7	81.5%	18.5%
職業	会社員・役員	127	85.0%	15.0%		自動車(近所の人・友人)	7	93.9%	6.1%
	公務員	21	82.6%	17.4%		徒歩	33	93.2%	6.8%
	自営業	37	89.9%	10.1%		自転車	7	84.9%	15.1%
	学生	3	67.3%	32.7%		原付・バイク	5	99.1%	0.9%
	無職	180	90.2%	9.8%		路線バス	15	96.5%	3.5%
	その他	51	86.2%	13.8%		JR・三陸鉄道	0	0.0%	0.0%
家族構成	一人	96	90.5%	9.5%		タクシー	0	0.0%	0.0%
	夫婦	109	89.1%	10.9%		その他	3	63.0%	37.0%
	親・子(未成人)	45	84.4%	15.6%	携帯電話	スマートフォン	329	85.8%	14.2%
	親・子(成人)	76	85.0%	15.0%		ガラケー	63	93.2%	6.8%
	三世帯	23	88.8%	11.2%		持っていない	27	93.7%	6.3%
	その他	71	85.0%	15.0%					

■質問3：市外へ買い物に出かける頻度

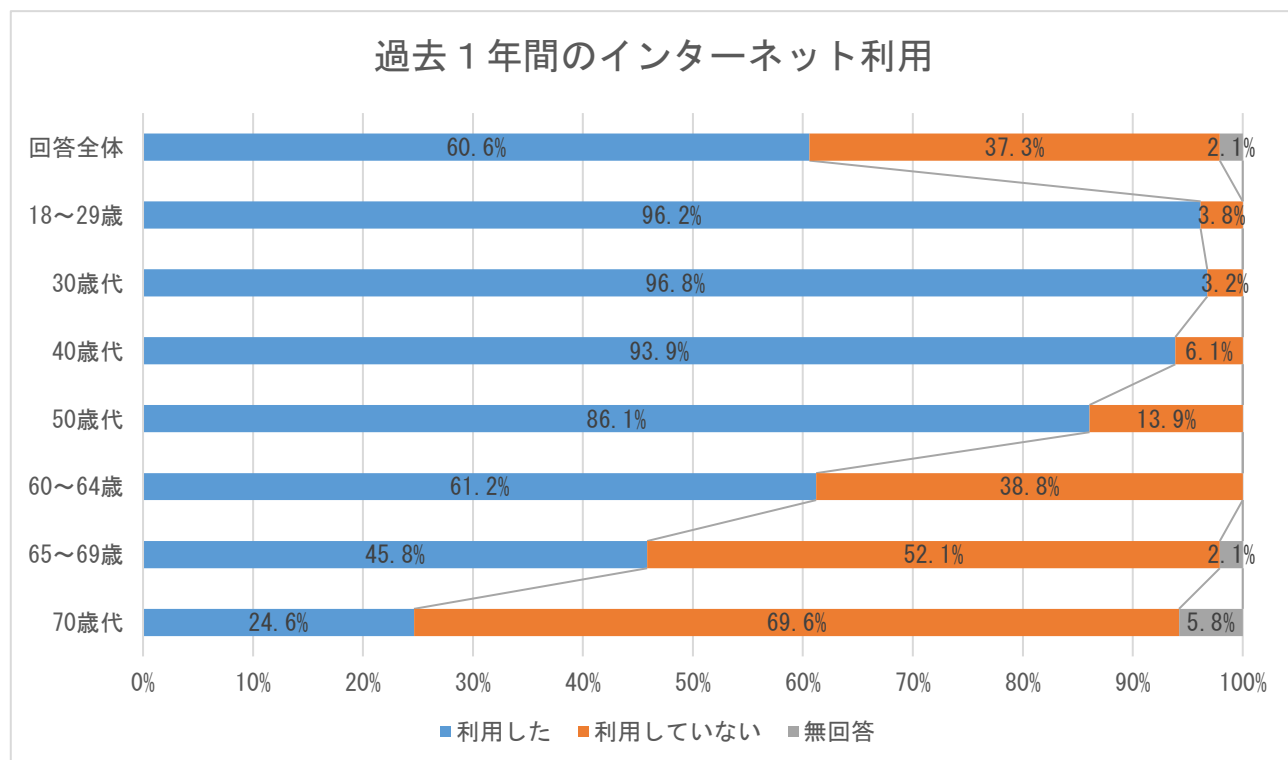
全体の中で最も回答が多かったのは「三か月に1回より間隔が空く」で22.1%となっているが、年代ごとで頻度に差があり、30歳代までは約半数が月に2～3回以上市外へ買い物に出かけている。



■質問４：インターネットの利用について

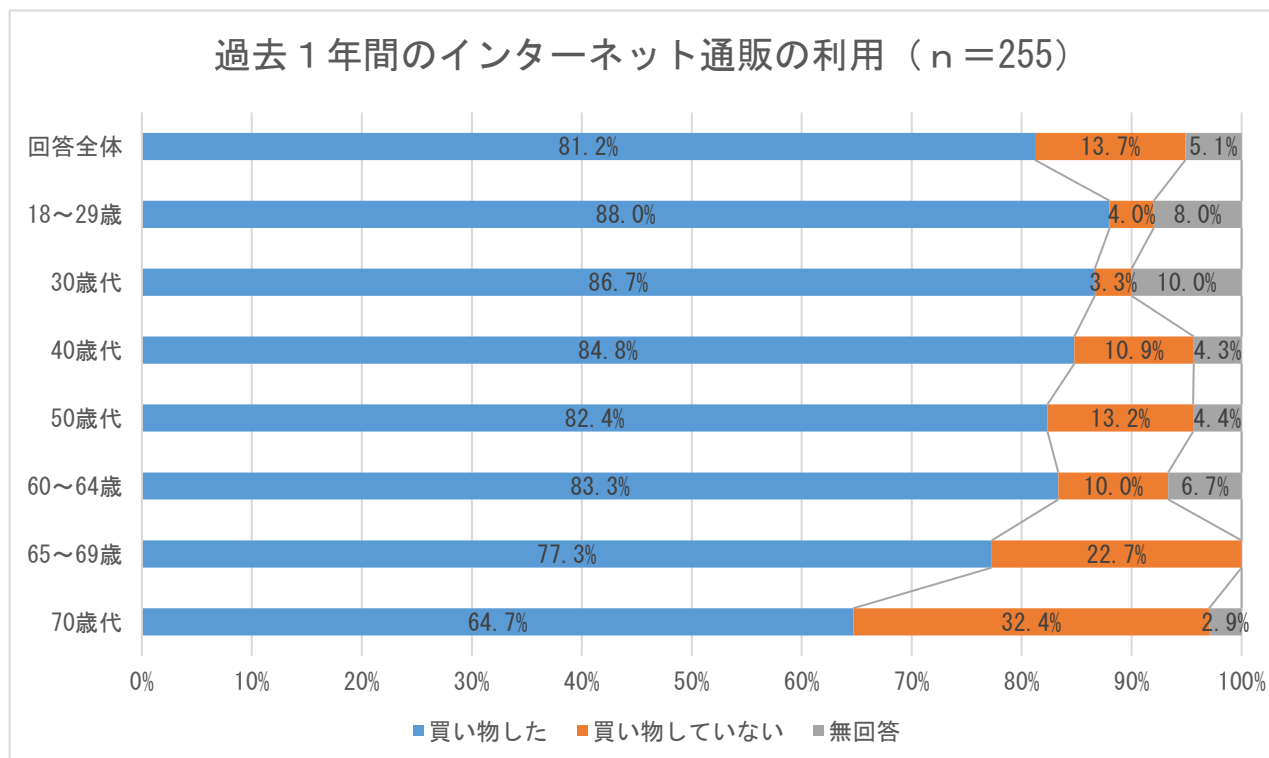
（１）過去１年間にインターネット（Ｅメールを除く）を利用したか

インターネットを日常的に利用しない割合が、全体の約４割、年齢別の内訳をみると、60歳～64歳の約４割、65歳～69歳の約５割、70歳代の約７割あることがわかった。



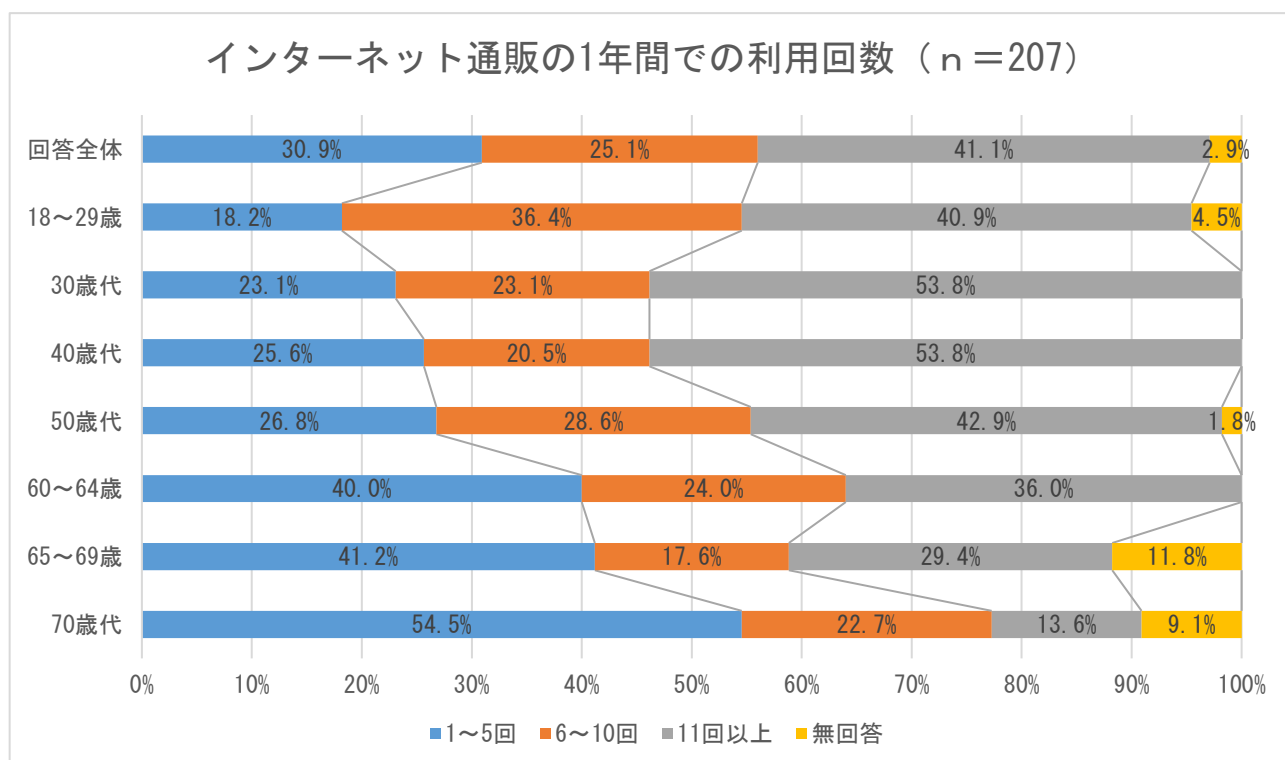
（２）過去１年間にインターネットを利用して買い物をしたことがあるか

過去１年間にインターネットを利用したと回答した 255 人のうち約８割（回答全体の約５割）が通販を利用している。65歳以上になると割合が減っていくものの、インターネットを利用する環境にある人は、70歳代でも約６５％の人が通販で買い物をしている。



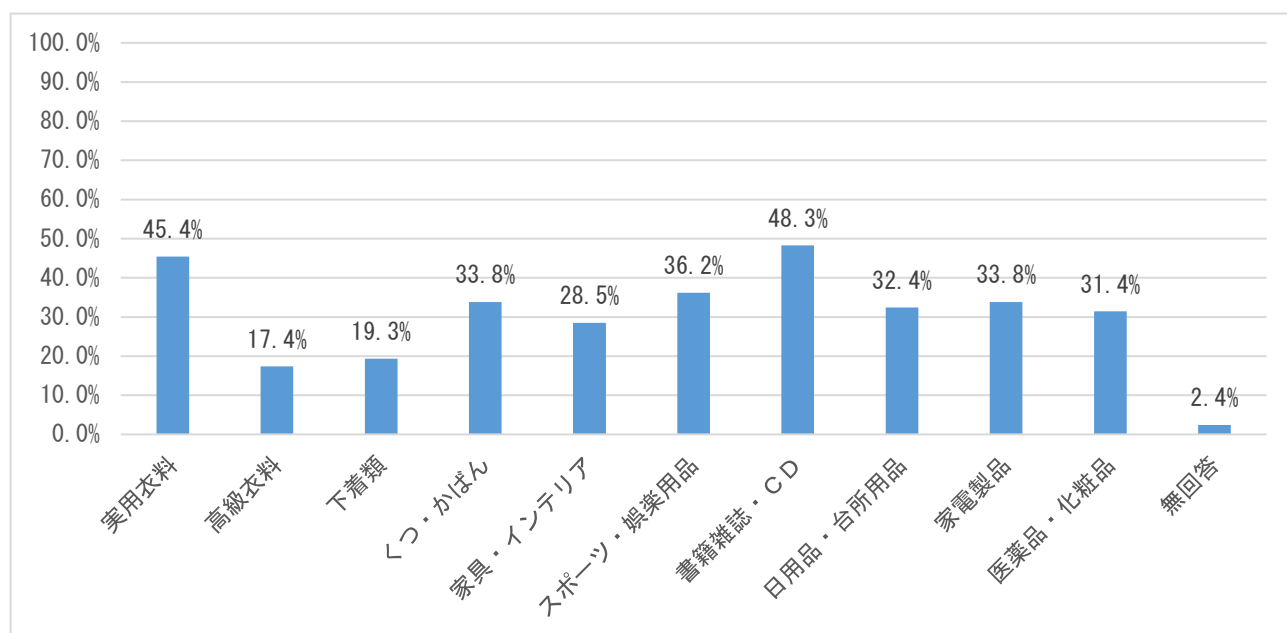
（３）インターネットで買い物をした回数は１年間で何回くらいか

インターネットで買い物をしたことがあると回答した 207 人の１年間の通販利用回数は以下のとおりで、年代が上がるとともに利用回数が減っていく傾向にある。



（４）どのような商品を購入したか

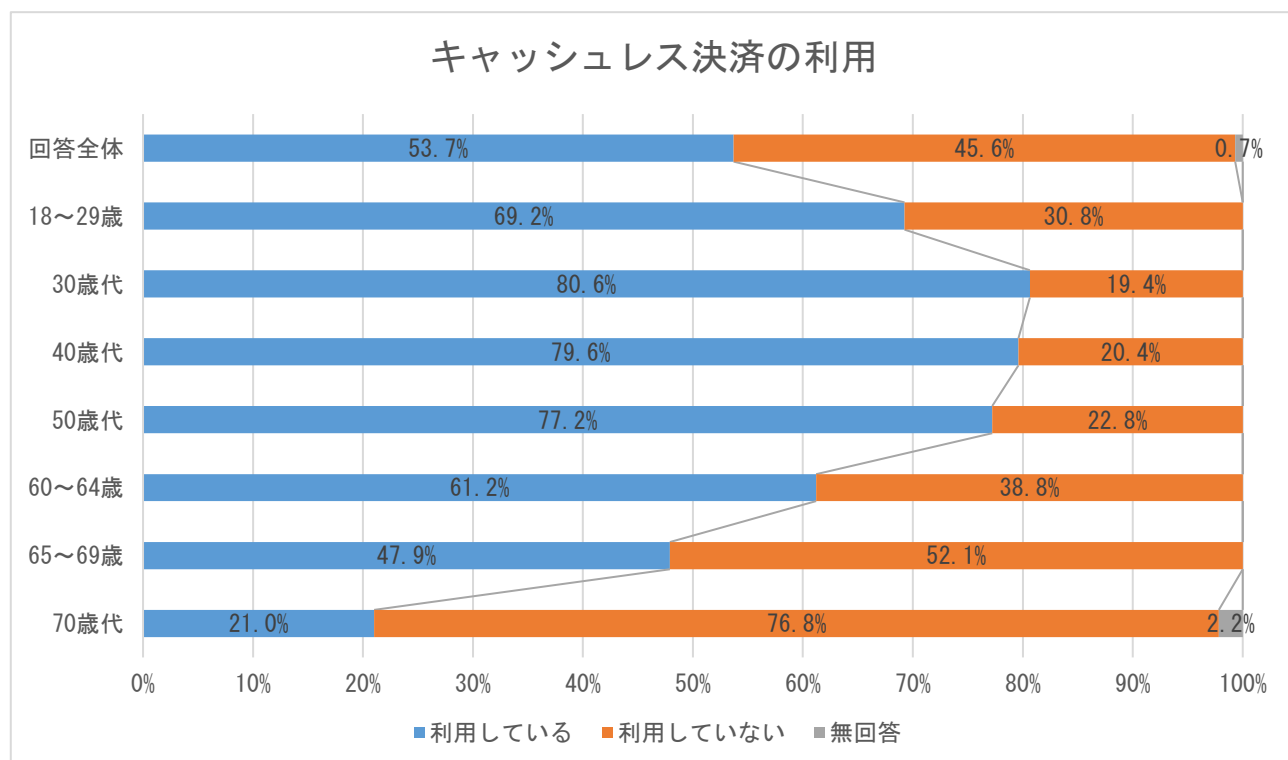
インターネットで買い物をしたことがあると回答した 207 人が購入した商品の内容は下の表のとおりとなるが、年齢別にみると 64 歳以下は「実用衣料」「書籍雑誌・CD」が多い一方で、65 歳以上は「実用衣料」の割合が減り、65 歳～69 歳は「書籍雑誌・CD」「日用品・台所用品」、70 歳～79 歳は「日用品・台所用品」「家電製品」の割合が高くなっている。



■質問5：キャッシュレス決済の利用について

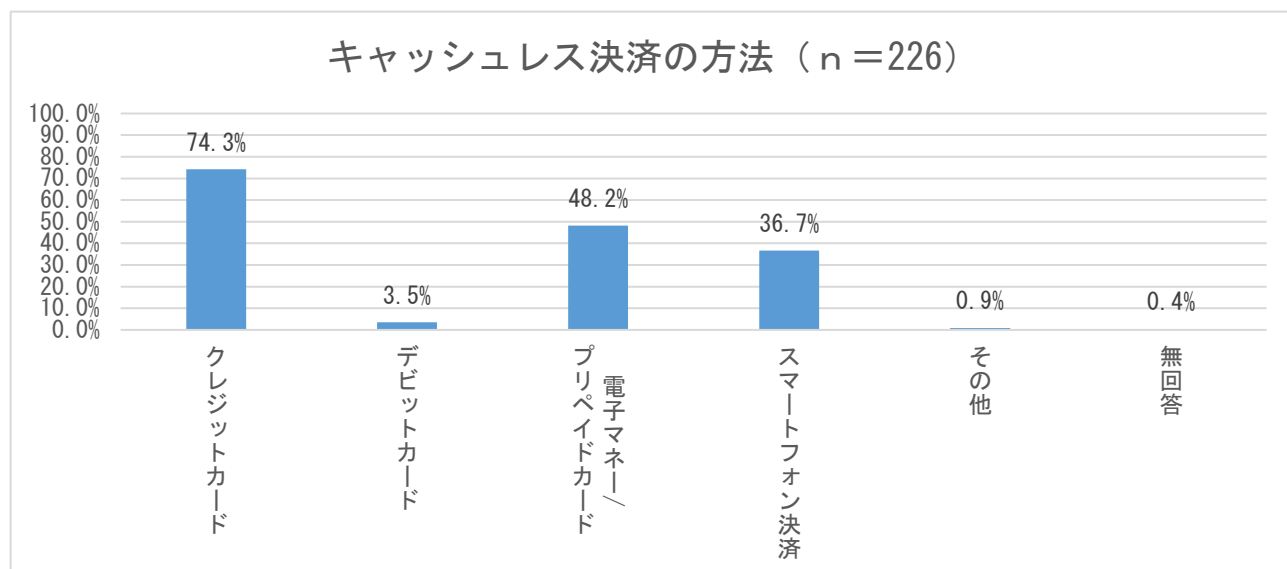
(1) キャッシュレス決済を利用しているか

回答全体で見るとキャッシュレス決済を利用しているのは約5割で、本調査の回答者の年齢構成において70歳～79歳が実際の市内の割合よりも多くなっていることから、実際には市内のキャッシュレス決済利用率は53.7%より若干上がると考えられるが、市民の約4割は決済手段が現金のみと見込まれる。



(2) 利用しているキャッシュレス決済の方法

キャッシュレス決済を利用していると回答した226人が利用しているキャッシュレス決済の方法は下の表のとおり。年齢別で利用の多い順を見ると、20歳代までは「スマートフォン決済」「クレジットカード」「電子マネー/プリペイドカード」、30歳代は「クレジットカード」「スマートフォン決済」「電子マネー/プリペイドカード」、40歳代以降は「クレジットカード」「電子マネー/プリペイドカード」「スマートフォン決済」と続く。

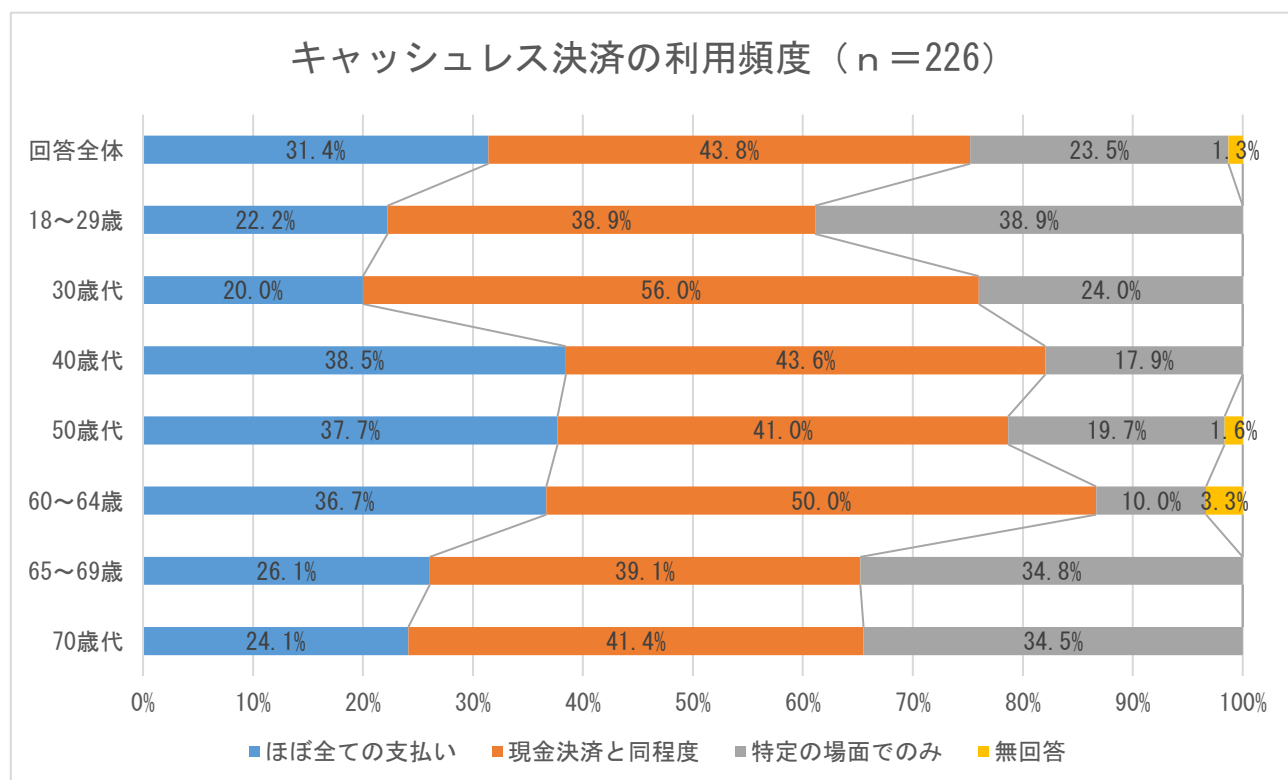


また回答のあったキャッシュレス決済の具体名と数は下表のとおり。

PayPay	Edy	WAON	d払い	nanaco	auPAY	コジカ	Suica	LINEpay
34	21	21	12	10	7	6	3	3
ワイカ	iD	QuicPay	楽天 Pay	セゾン	pasmo	ビュー	メルペイ	ララ
3	2	2	2	1	1	1	1	1

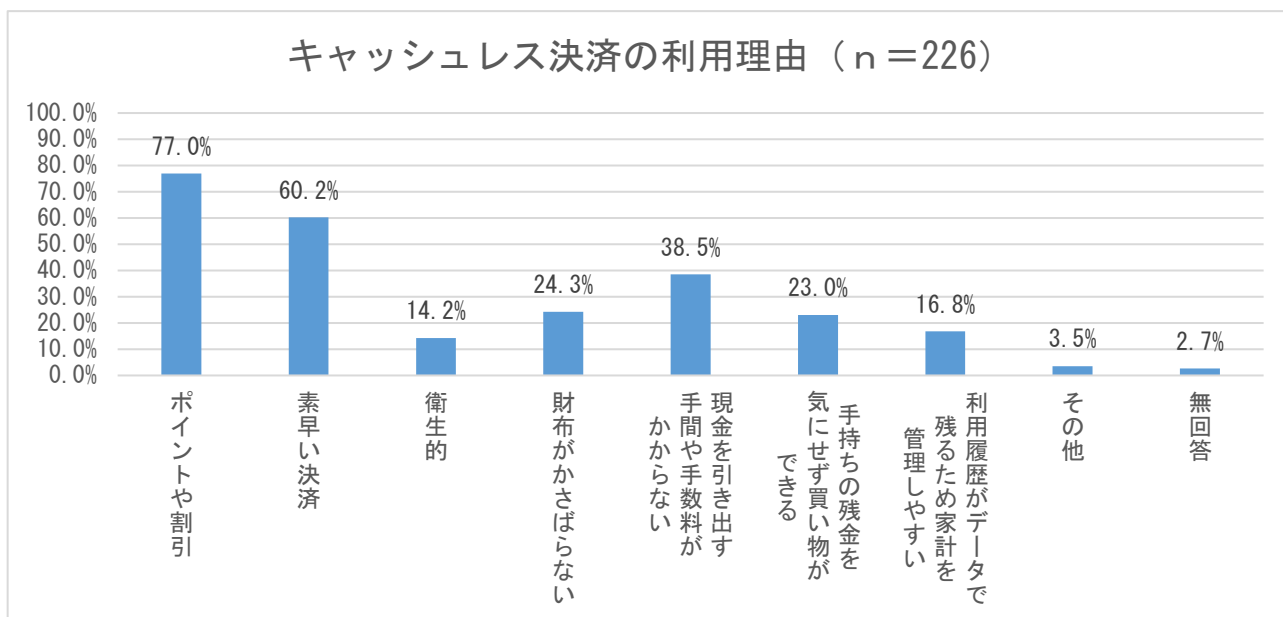
(3) キャッシュレス決済を利用できる場面ではどの程度使っているか

キャッシュレス決済を利用していると回答した 226 人の、キャッシュレス決済の利用頻度は下の表のとおり。どの年代でも「ほぼ全ての支払い」が4割を超えることはなく、市民の約4割が決済手段が現金のみという状況からも、市民の決済手段としては現金決済が主流となっていることがうかがえる。



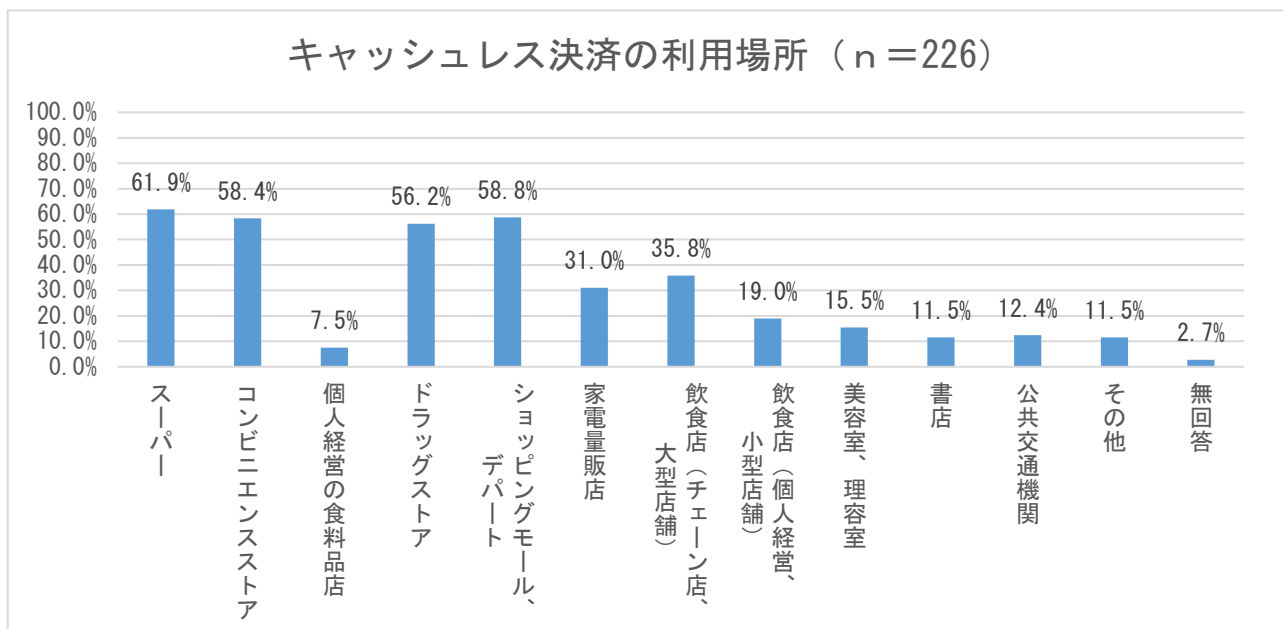
（４）キャッシュレス決済を利用している理由

キャッシュレス決済が選ばれる理由としては、「ポイントや割引」が主なものになっている。「その他」の理由としては、「現金がなかった場合」「現金で支払いができない場合」といったものが挙げられた。



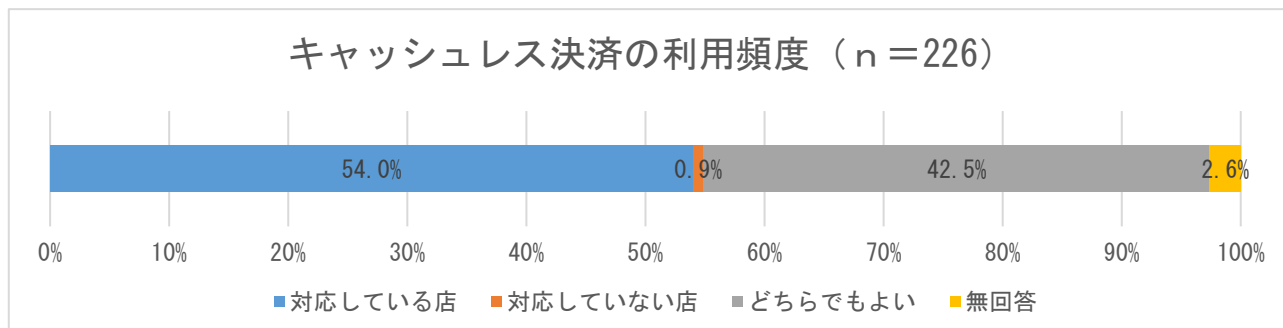
（５）どんな場所でキャッシュレス決済を利用するか

キャッシュレス決済を利用する場所の割合は下の表のとおりで、普段買い物に行く機会が多い場所で多く使われることがわかる。「その他」の回答としては、「インターネット通販」「ガソリンスタンド」「宿泊施設」といったものが挙げられた。



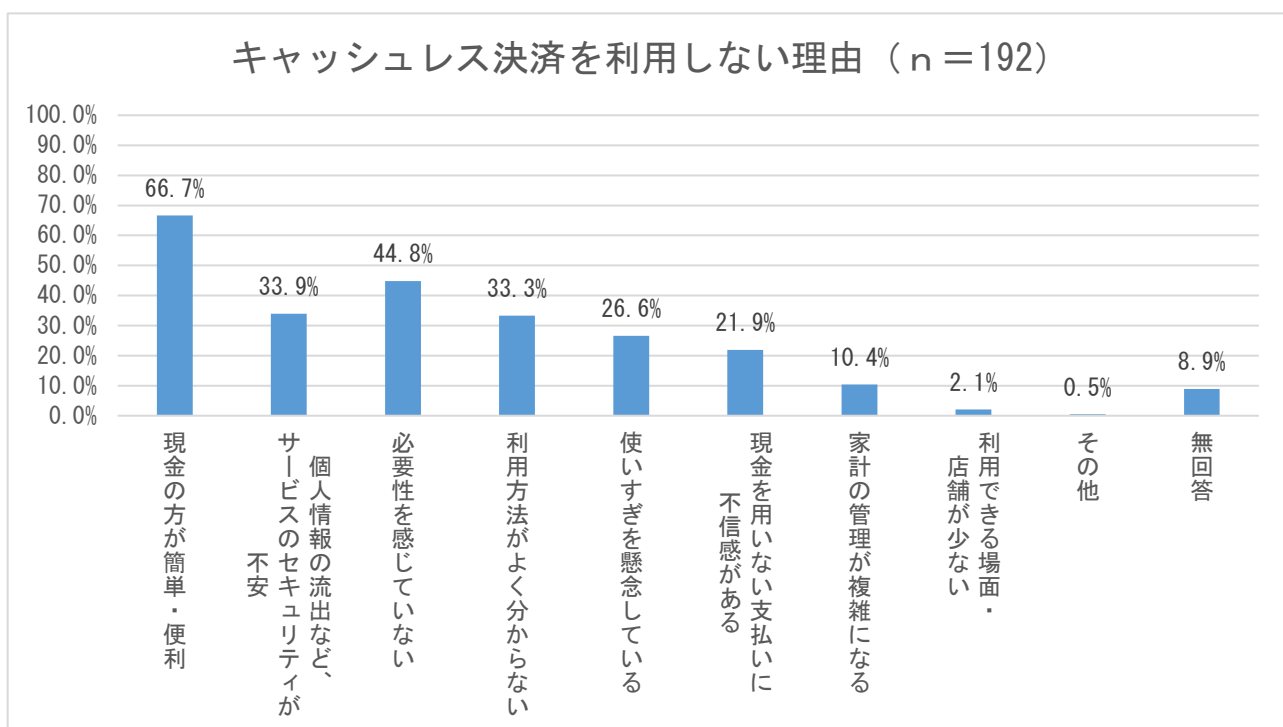
(6) 品ぞろえや価格などが全く同じ場合、キャッシュレス決済に対応している店としていない店ではどちらを選ぶか

30歳代のみ「対応している店」を選択した割合が72.0%と他の年代と比べて約2割高くなっているが、その他の年代では総じて「対応している店」が約5割、「どちらでもよい」が約5割となっている。



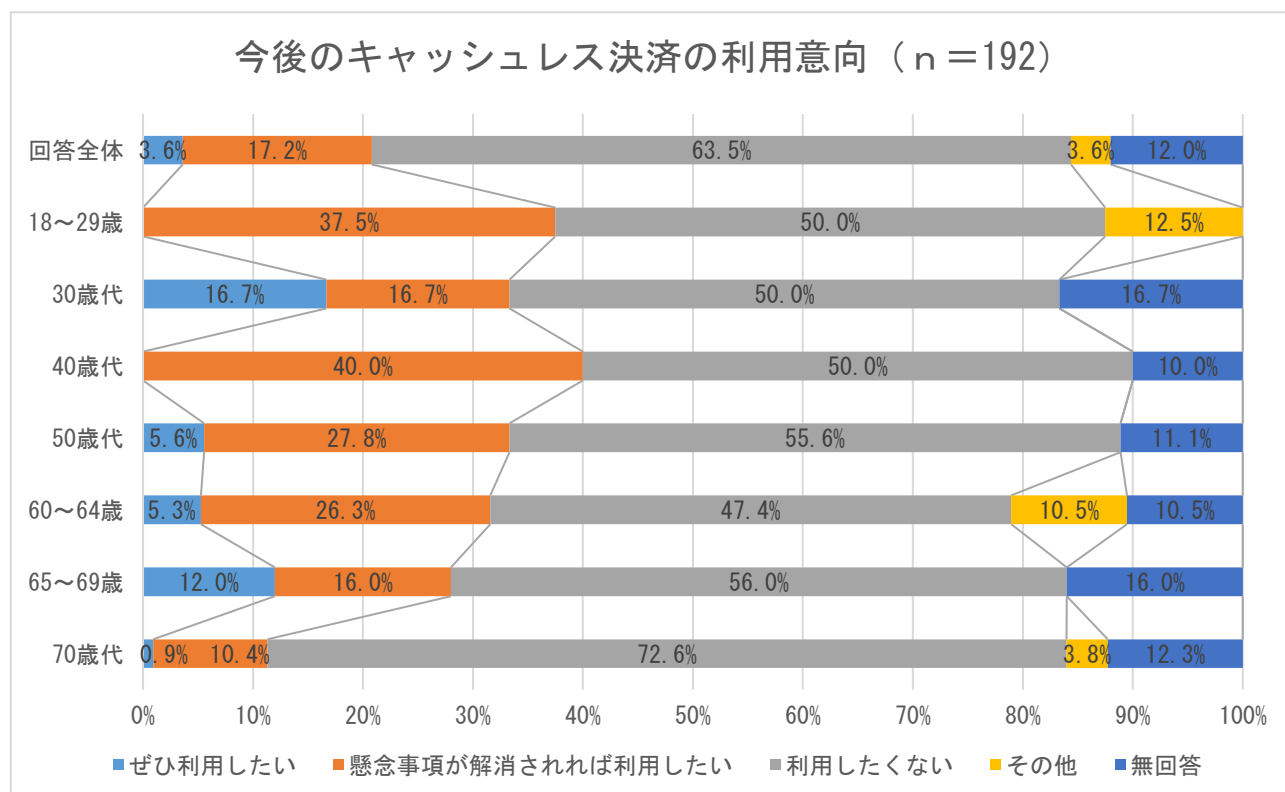
(7) キャッシュレス決済を利用しない理由 (キャッシュレス決済を利用していない人のみ)

キャッシュレス決済を利用していないと回答した192人について、キャッシュレス決済を利用しない理由としては、「現金の方が便利・簡単」「必要性を感じていない」が多く、現金決済のみで不便がないという面が大きいようにうかがえる。



（８）今後、キャッシュレス決済を利用したいと思うか（キャッシュレス決済を利用していない人のみ）

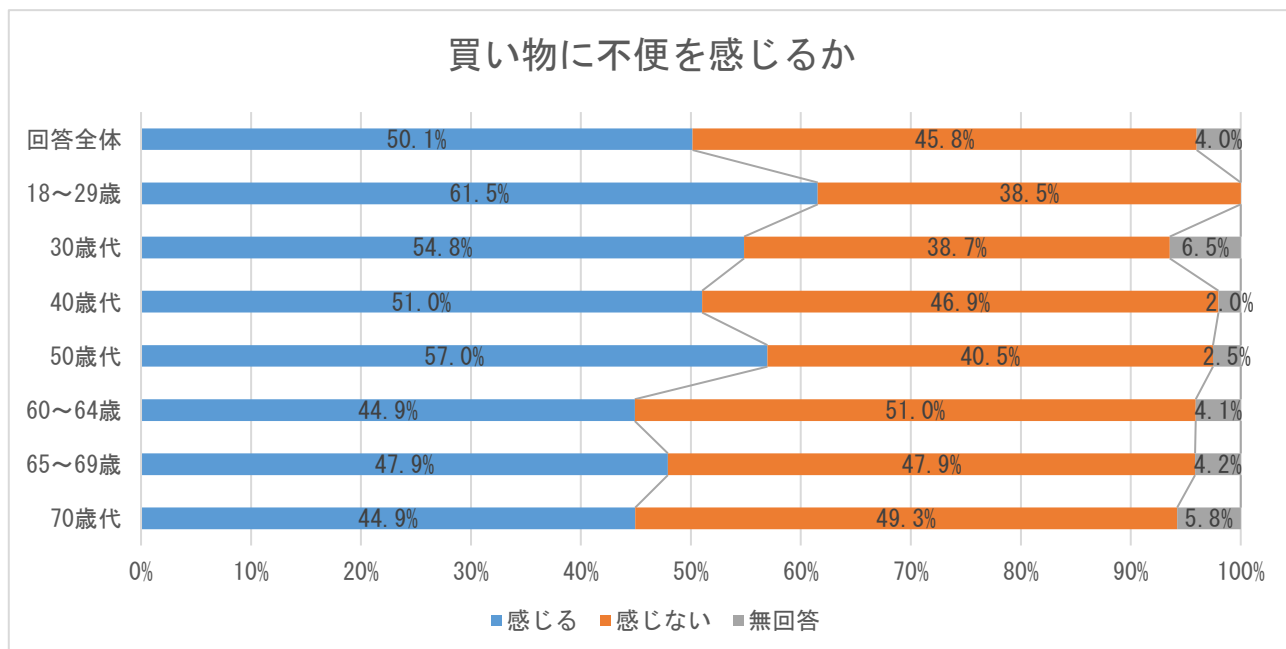
キャッシュレス決済を利用していないと回答した 192 人について、約 6 割（回答全体の約 3 割）は今後も利用したいと思わないという回答であった。残り約 4 割についてはキャッシュレス決済の利用開始が見込めるが、現在現金のみで不便がない中でどう必要性を感じるかどうか重要な要素となる。また今後買い物環境において困難が多くなってくる 70 歳代については 69.6%がインターネットを利用しておらず、70 歳代全体の 55.8%がキャッシュレス決済を「利用しておらず今後も利用したくない」と回答していることから、買い物支援において I T 化が進んだとしても消費者の買い物方法に新しい機器や決済方法を導入することはニーズと合わず、普及が難しくなることが予想される。



■質問6：買い物環境に感じることについて

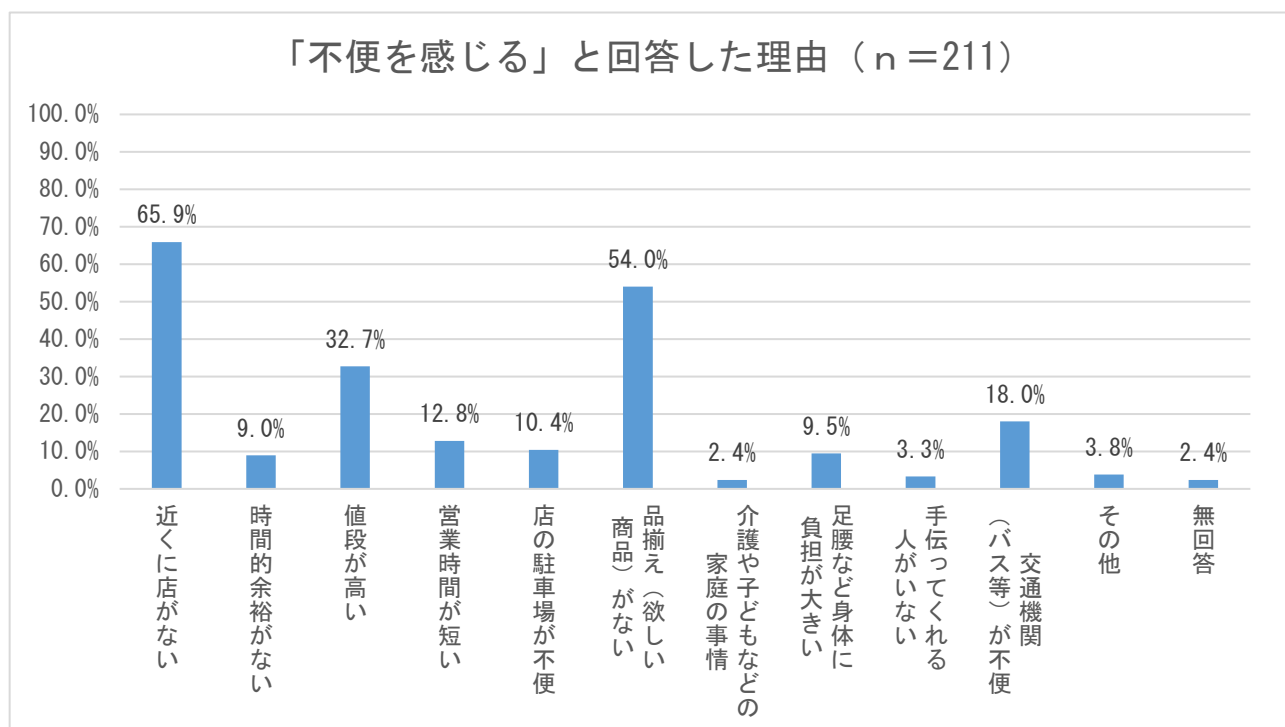
(1) 日常の買い物に不便を感じるか

買い物に不便を感じるかについて、70歳代までについてはどの年代でも大きな差はなく概ね半々となった。



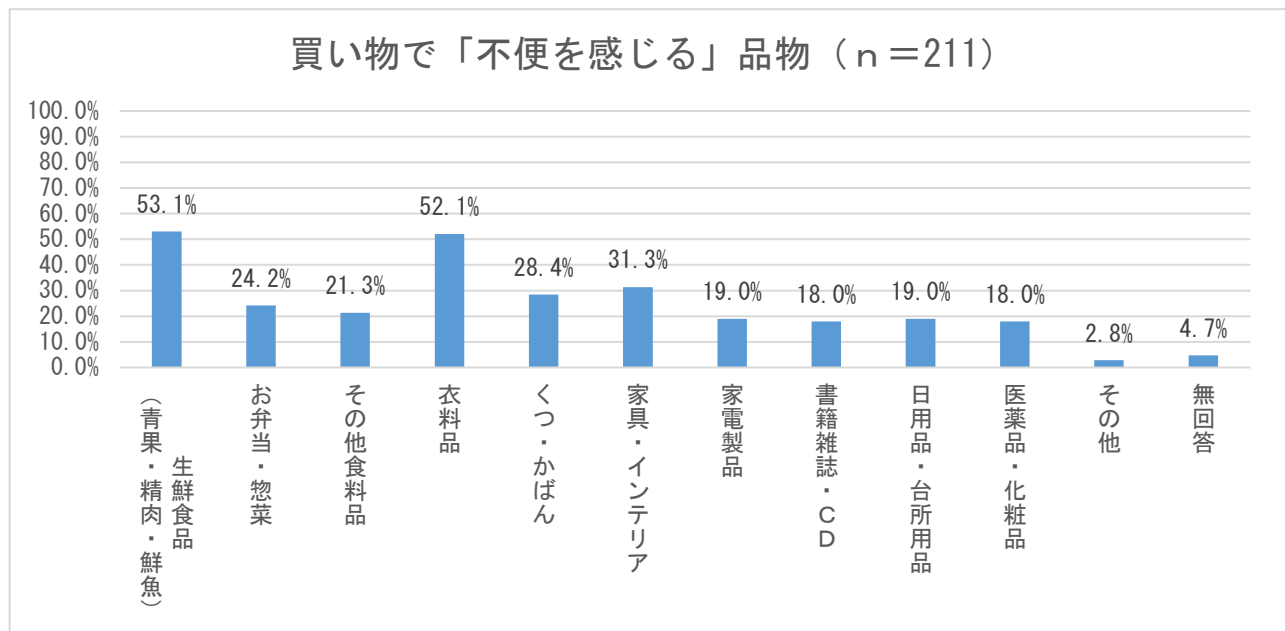
(2) (1) で「不便を感じる」と回答した理由（「不便を感じる」と回答した人のみ）

「不便を感じる」と回答した211人について、「不便」と感じる大きなポイントとしては、「近くに店がない」「品揃え（欲しい商品）がない」であり、「身近な所で実物を見て欲しいものを買いたい」というニーズが満たされない場合に不満とすることが多い。当市の商圈でこの点について対応するには限界があるため、解消していく「不便」の優先順位、「不便」の解消の仕方等で着手にあたり課題が多い。



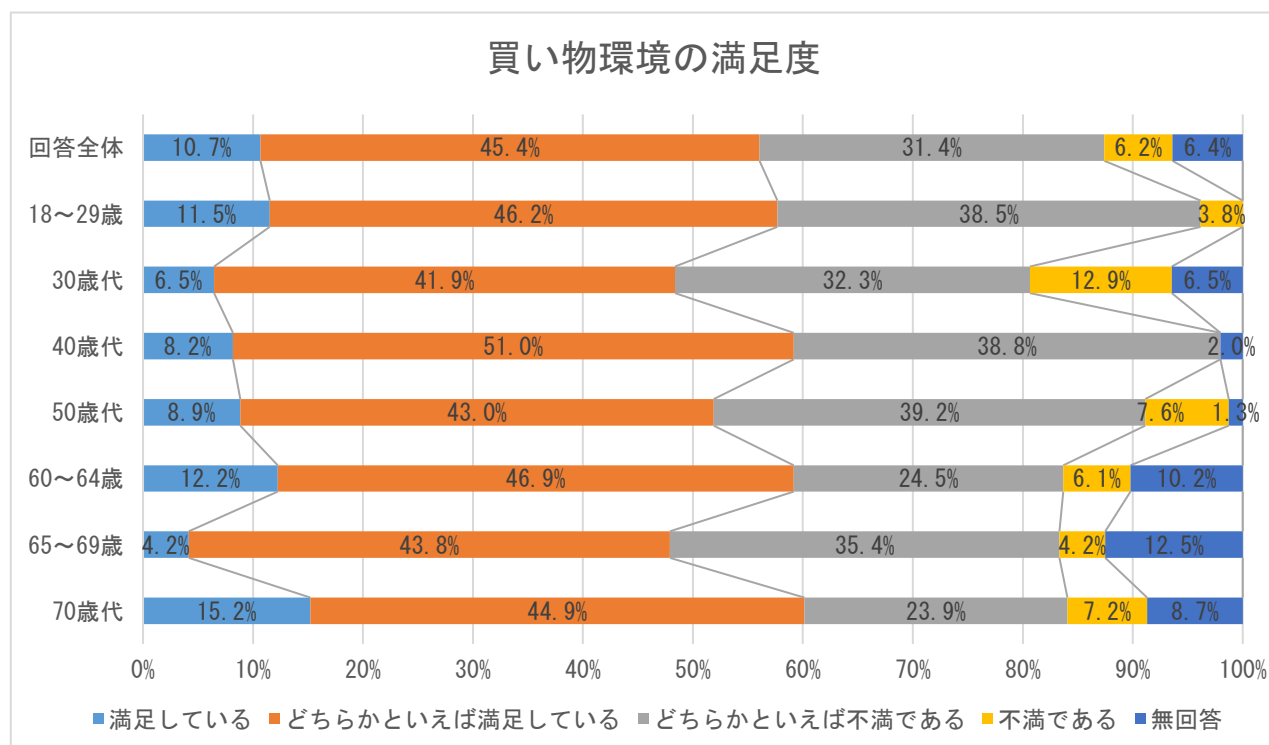
(3) 「不便を感じる」のはどのような品物の買い物か（「不便を感じる」と回答した人のみ）

「不便を感じる」と回答した 211 人について、買物で「不便を感じる」品物は「生鮮食品（青果・精肉・鮮魚）」と「衣料品」が多く、これらの品物が特に（2）の「近くに店がない」「品揃え（欲しい商品）がない」と感じられていることがわかる。



(4) 現在の買い物環境にどの程度満足しているか

不便を感じるかとは別に満足度について調査したところ、概ね不便を感じるかと一致しながら、全体で「不便を感じる」が 50.1%だったのに対し、「満足」「どちらかといえば満足」が 56.1%となり肯定的な感じ方が 6.0 ポイント高くなっている。これは買い物環境に不便を感じていながら、「満足」「どちらかといえば満足」と回答している人がいるためであり、人口減少に係る課題が今後さらに大きくなり、買い物環境の維持向上が困難になっていく当市においては、この人数を増やしていく取組みも重要となる。

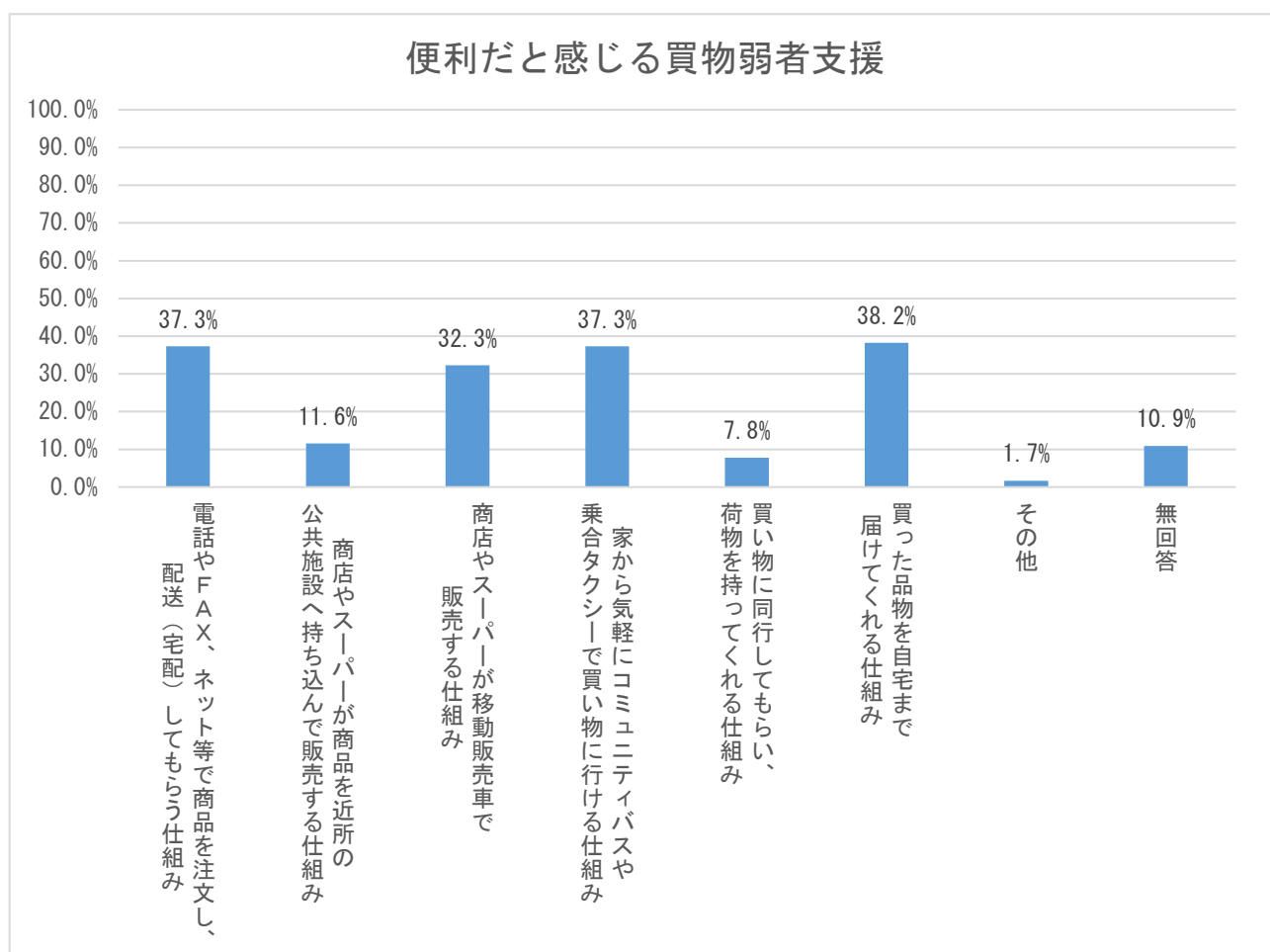


■質問 7：買物弱者の支援策として最も便利だと感じるもの（上位 2 つを選択）

「公共施設で販売」「買い物に同行し、補助してもらう」「その他」を除いて、他の施策に対しては同等の割合で便利だと感じられているが、年齢別にみると選ばれるものに差が生じている。

なお、「その他」として挙げられたのは以下のような意見だった。

- ・地域、地区に取り組む自治体が有ってよいと思う。
- ・商店、スーパーがチラシ等配布し注文後、発送
- ・無料パスにしてほしい（バス、汽車）
- ・イベントに合わせてコミュニティバスを出してほしい



年齢別で見た時の割合は下の表のとおり。

69歳以下では「自宅からの注文・宅配」や「移動販売」も高い割合を占めているが、70歳代では上位2つが「店舗で買った品物の宅配」「便利なコミュニティバスや乗合タクシー」に偏っている。これらはどちらも「商店やスーパーに出かける」ことを前提としており、70歳代では買い物で重視されるポイントが、単純に商品を手に入る以外の要素になってきているようにうかがえる。

本調査の対象となっていない80歳以上については、70歳代よりも外出にあたっての身体的な負担が大きくなってきており、70歳代と同様の結果とは限らないため、更に調査することが必要である。

	18歳～ 29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳代
電話やFAX、ネット等で商品を注文し、配送(宅配)してもらう仕組み	38.5%	41.9%	42.9%	43.0%	44.9%	43.8%	26.1%
商店やスーパーが商品を近所の公共施設へ持込んで販売する仕組み	15.4%	22.6%	10.2%	8.9%	10.2%	12.5%	10.9%
商店やスーパーが移動販売車で販売する仕組み	46.2%	32.3%	40.8%	38.0%	34.7%	29.2%	23.2%
家から気軽にコミュニティバスや乗合タクシーで買い物に行ける仕組み	26.9%	35.5%	36.7%	40.5%	30.6%	43.8%	37.7%
買い物に同行してもらい、荷物を持ってくれる仕組み	7.7%	16.1%	10.2%	11.4%	10.2%	0.0%	5.1%
買った品物を自宅まで届けてくれる仕組み	50.0%	25.8%	40.8%	36.7%	36.7%	31.3%	42.0%
その他	0.0%	3.2%	0.0%	1.3%	4.1%	4.2%	0.7%
無回答	3.8%	6.5%	6.1%	3.8%	10.2%	8.3%	20.3%

■質問8：市内の買い物環境について便利あるいは不便だと思った点、あれば良かったと思ったものやサービスなどの他、コロナ禍や物価高騰に対して望ましい支援策など（自由記述）

【施設関連】（一部抜粋し、同様意見は集約。以下も同じ）

（商店・スーパー）意見数14件

- ・近所に商店がないのでとても不便です。
- ・大スーパーより近くに小さいお店（食料品）があれば良い。もちろん大スーパーには感謝しています。
- ・スーパーの数を増やしてほしい（マイヤ、マルイチ、キクコー）。キクコーストア釜石松倉店が遠い。
- ・ここ2、3年コロナ禍の生活で買い物は生協さんにお世話いただき助かっています。橋野町に住んでいるので仮設のホームック、みずかみさんの様な栗林地区辺りにスーパーがあると便利と考えています。
- ・中妻2丁目にスーパーみずかみがなくなり不便になり、買物に行くと近所の顔なじみの人たちに会わなく寂しく感じる。
- ・小川にスーパーがなくなり困っているという話をよく聞きます（高齢者や車を持っていない方など）
- ・小川町にはスーパーがなくなりとても不便です。遠くまで毎日買物が大変です。
- ・小川・中妻地区でのスーパー再開。
- ・震災以降、駅から東前地区方面にスーパーがなく不便です。イオンはあるが徒歩や自転車の人、年配の方にはとても不便です。
- ・地域ごとにスーパーがあるとお年寄りの方も歩いて買い物に行ける。スーパーやコンビニが一定間隔

ではなく偏っているように見える。お店が少ない。

- ・集落にぜんぜん商店やスーパーがないので大変です。
- ・自宅にスーパーが近いと便利。
- ・ミニスーパー的で生鮮食品の良い店があれば値段は別にしても一人暮らしには助かる。
- ・徒歩で行ける買物環境が欲しい。

（各種専門店）意見数 5 件

- ・釜石にもしまむらがほしい。
- ・安価な家具屋の誘致。
- ・リハビリ用の靴が鶴住居にあればいい。
- ・スーツ、家電、スポーツ店が1つのみで、商品がないと買えない。
- ・専門店の様な店が少ないので店頭で買おうと思うと他市で買い物するしかない

（飲食店）意見数 4 件

- ・若者が集まれるオシャレなカフェが少ない。
- ・コロナ後、図書館に飲食店があれば集客 u p に繋がると思う。
- ・有名チェーン店がないため外食が気軽にできない。
- ・一流料理人のいる食事所の設置。

（大型施設）意見数 4 件

- ・商業施設を誘致してほしい。
- ・映画館やボーリング場などの娯楽施設新設。
- ・もう1つ大型ショッピングセンターがあればもっと買い物が便利になると思います。
- ・品揃えが少ないので大型店舗があれば良い。

（駐車場）意見数 3 件

- ・駐車場の1台当たりのスペースが狭い。お年寄りの方の車がスペースをはみ出していたり、ドアの開け方が危険。
- ・駐車場のスペースが狭い・少ないお店が多い。

【品揃え関連】

（食料品）意見数 7 件

- ・産直を充実させてほしい
- ・平田、みずかみで品揃えが悪い。食料品はイオンと併用
- ・1つの場所ですべてそろわないのでスーパーなどをはしごしなければならない。少し価格の良いものを売っているところがなく贈り物など市外に行かなくてはいけない。
- ・スーパーへ行っても魚・刺身がない、いつも決まった数種類の物しかない。カツオ・マグロなどいろいろな魚を仕入れてほしい。刺身を食べたいけどない。
- ・野菜・青果全般が新鮮さを欠いている店が多い。
- ・ネットで流行っている食品が手に入りづらい。大手のスーパーに頼んでも購入できないことがほとん

ど。正規の値段もしくは少しお安い値段で中央と同じ商品が購入できるようになると嬉しいです。

- ・惣菜の品揃えが悪い。

（子供用品）意見数 5 件

- ・子どもがいる家庭からすれば子どもの（学校用の）ジャージが 1 店舗でしか購入できないのが特に不便だと感じています。しかもお店が土日が休みの場合、いつ買いに行けばいいのかいつも不便に感じています。（平日は仕事なので）
- ・子どもの衣類（特に下着）が選ぶくらいの品ぞろえがないので、市外の衣料品店へ行きます。1 年で服も入らなくなるので子どもの服・下着を取り扱う店があると助かる。
- ・子供用品の品ぞろえが良くないのではと感じます。西松屋さんやバースデイさんなどが市内にないので不便だと思います。大手衣料品店もイオンタウンさんの中だけしかないので選択肢が少ないなど。
- ・子ども用の衣料品を充実させてほしいです。サイズや質の違い等、種類が少なく釜石でそろえることは不可能に近い状況です。
- ・子供服を買いに北上・花巻まで行く。

（品揃え全般）意見数 6 件

- ・品揃えの少なさ
- ・欲しいものが見つからない
- ・どの分野でも市外に出なくても買いたくなる商品の仕入れが必要。
- ・品揃えを充実させるべき。欲しい物を市外・県外まで行くのは不便。
- ・店の品揃え不足（雨どいの部材不足で遠野まで行った。こたつ布団のサイズなし。ガラスの目隠しシート在庫なし等）で隣市まで行く時があります。今は自家用車ですが、これから先を考えると心配になる。
- ・従業員の不足のためなのかオープン時の売り場の品ぞろいが全くなっていない。いかにも競争不足の沿岸地区だと感じる。もっと客を大事に扱ってほしい。（開店時の客を特に大事にしてほしい）

【サービス関連】

（宅配サービス）意見数 12 件

- ・車を手放した後が交通不便なので自宅まで宅配はありがたい。
- ・店で 5,000 円以上お買い上げの方で高齢者や妊婦と限定されているのを見かけますが、若くても車のない人・持てない人（ペーパードライバー等）もいます。高齢者、妊婦も支援は必要ですが、年齢に限らず若くても足がない人たちでも利用できるようなればもっといいかなと思います。
- ・5 千円以上買い物しないと配達不可。上限なく配達して欲しい。高齢者、障がい者に不親切。
- ・配送料込で配送希望。持帰りを考えないと色々買い物が出来、楽しい
- ・今現在マイヤ店で購入した商品を配達していただいておりますが、イオン店でも同様のサービス（手数料可）を受けられればと願っています
- ・今は主人の車で買い物しているが車を運転できなくなった場合どこのスーパーでも配達してくれる仕組みが欲しい（今はマイヤが実施しているようですが）
- ・宅配サービスを受ける方法の説明不足。
- ・ウーバーがあればいい。
- ・老人だけの家に個別配達サービス。

- ・まとめ買いで手に持てる分だけ買いバスで帰宅。バスの時間もあるし重くなると持てないので、諦めて帰る。
- ・コロナ感染しネットスーパー必要だと思った。
- ・配送センターを設置し宅配は市役所の支援サービス担当者増員を用いる。地域実態を理解、対応改善提案が幅広くでき役所の働きがい意欲向上できる。(その記載あり)

(移動販売) 意見数 4 件

- ・スーパーやコンビニの移動販売の強化
- ・生協さんにかなり助けられています。
- ・震災直後に仮設商店が建設されて食料品やホームックもあって日用品等の買い物が徒歩でもできる環境になったときは本当に便利でうれしかったですが、震災後 10 年過ぎてまた以前の買い物に不便な鶴住居になりました。これでコロナ等にかかったらいったいどうして生きていけばいいのかと途方に暮れてしまいます。移動販売といっても店は利益がでなければすぐ撤退すると思いますので絶対的販売力を広げている生協等に市から協力を得て移動販売に協力していただく等の方法はいかがでしょう。
- ・母は移動販売車を利用している。移動販売の品揃えには少し不便を感じる時があるようだが、これからも長く継続してもらえるとありがたい。多少値段が高くても良い物を提供し続けてくださることを願っている。

(キャッシュレス) 意見数 6 件

- ・どこでも PayPay を使用できるようにしてほしい。
- ・PayPay30%還元してほしい。
- ・電子決済の際に消費税相当額をポイント還元する支援策を実施してほしい。3%でも5%でも。事業者も市民も助かると思う。
- ・釜石市はキャッシュレス化されている店が多く、現金を使わずに買い物できるお店を便利に使っています。
- ・キャッシュレス決済の統一化 (いくつものサービスに金を預けるのは面倒で嫌です)。
- ・スマホ決済をほぼ使用するので定期的にポイント還元のイベントがあれば嬉しい。

(商品) 意見数 3 件

- ・小分けパックが少ない。歳で食も細くなり種類を取りたい時に不便。
- ・コロナ禍でなかなか遠方に外出することが減ったので、地元以外のスイーツなど出張販売を見かけますが、食料品以外でも装飾品や雑貨 (有名店) など出張販売があれば良いと思います。
- ・買い物袋が有料になったのが良くない。有料にしたことで何が変わったのか。

(価格) 意見数 2 件

- ・スーパーによって差があり複数の店で購入しなければならない。
- ・価格の比較がしにくい。

（営業時間）意見数 2 件

- ・朝、夕店が開いていない。
- ・営業時間、特に終業が早すぎる店が多い。

（情報）意見数 3 件

- ・テイクアウトや出前などのネット情報充実させてほしい
- ・買物同行補助、店舗で買った商品の宅配を行っている事業者のアナウンスと利用実績の公表。事業者の負担何割かの支援を役所で。

（従業員）意見数 3 件

- ・店員の知識不足、やる気不足
- ・箱単位で購入時、店員に車に積んで欲しいと言えない。
- ・鈴子マイヤで人員が少ない中、車椅子の方に店員 1 人が付きっきりサポートしていた。

（設備・備品）意見数 2 件

- ・他店で購入した物を持ったまま買い物するのが大変。ロッカーがあれば良い。
- ・ショッピングカートを自宅へ持ち出しができないのが不便

【交通関連】

（バス）意見数 10 件

- ・バス停から店までの距離、不便さ。コミュニティバス前日予約不便。
- ・近くに店がないのに、遠くのスーパーまで行くバスの本数が少ない為、帰りはタクシー。
- ・イオン裏通りにバス停があると良い。
- ・年代によって乗合バス割引実施。
- ・住んでいる野田団地は路線バスが少なく、国道沿いで移動するだけの人達と違う。買い物弱者は深刻な問題。
- ・例えば軽トラ市などが開催されていますが、車のない人は新鮮な物が欲しくても荷物が多くて持って帰ることができません。土日にコミュニティバスがあれば良いと思います。
- ・母親がバスの運行数が少なく気軽に買い物に行けない（帰りのバスの待ち時間が長すぎるため）
- ・私はまだ車を運転できる年齢のため不便と感じないが、高齢になり運転ができない年齢になると不便を感じる。高齢になっても安心して住めると思えるサービスにもっと力を注ぐ必要があると感じる。例えば陸前高田市のようにミニバスを運行するなど。
- ・土日祭日のバスが少ない。バス代が高いので移動販売が欲しい。
- ・運転出来なくなった時、平田からバスの便が悪く買い物できなくなりそう。生協に加入しているが手に取る楽しみがない。

（タクシー）意見数 3 件

- ・バス停が遠くタクシーを利用することが多いので補助があると助かります。
- ・タクシーが深夜やっていない
- ・運転免許証を返納した高齢者へスーパーで利用可能な商品券やタクシーチケットを贈呈する。

（鉄道）意見数 1 件

- ・年金のやりくりで苦労している。免許返納は足をとられる。盛岡で医療機関にかかる為、鉄道機関を廃止しないでほしい。

（交通全般）意見数 11 件

- ・交通機関がもっと便利になって欲しい。唐丹地区は交通便が特に悪い。
- ・高齢者が雨の日でも歩いている姿を見て交通手段を何とかして欲しいと思う。
- ・今は自分で車で買い物しているが運転できなくなれば不便です。でも自分の目で見たまには買い物に行かないとボケるような気がします。楽しみも無くなります。
- ・今は主人の車で買い物に行けるけど 1 人になったら大変になる。
- ・免許証返納した高齢者へのサービスを増やしてあげてほしい
- ・車がなければ買い物に行けない総合病院が近くにない。早く死亡する人が多い
- ・車のない高齢者は買い物が一番大変かと思います。釜石の様な田舎では車の免許返納は現実的に厳しいので代わりになるサービスが必要
- ・家族が運転免許証返納し買物の足がない。公共交通貧弱により普通の買物が出来なくなった。
- ・特定の時間・特定の企業の方々が通勤と重なりメイン通りが渋滞となるためその特定の企業でフレックスや乗合通勤バス等対策を考えてほしい。（SMC）
- ・病院行く時の介助サービス。
- ・家族の車を借りて買い物に行けるがガソリンも高いので我慢するしかない。どうしても必要な物はネットで送料無料になるように買えば時間とガソリンの節約と欲しいものが手に入る。

【価格高騰関連】意見数 13 件

- ・燃料、物品高騰。残業代カット。ギリギリの生活で買い物を楽しめない。
- ・地元の魚類安く買えない。魚市場がない。低所得者に対する援助が少ない。
- ・物価高で毎月赤字。
- ・物価高騰で年金生活者には大変。
- ・年金暮らしには物価が高すぎて大変です。
- ・物価高騰に対する支援は対象者をしばらず全世帯に行うべき。現実的ではないので販売店に対して金銭的支援を行う方法も 1 つの策。
- ・物価高騰の支援策は消費税『ゼロ』か減税しかない。
- ・物価高騰に対して給付金の配布があるとありがたいと思います。非課税世帯のみなどではなく、一律の配布を希望します。
- ・物価の高騰に伴い子育て世帯に定期的に給付金を支給していただきたい。
- ・望ましい支援としては少しでも安くなるようにしてほしい。全ての物が値上がりしているが、生活するには厳しいのが釜石のように思えます。岩手県でも一番きびしい生活を強いられていると思います。
- ・何でも値上げで生活に困っている。何か支援してください。買い物できる店も近くにない。
- ・物価高騰に悩んでいる。
- ・物価高騰もみんな大変なのに特定の事業者や人にばかり支援するのはどうかと思う。本当に生活に困ってる人に支援しては。

【支援策関連】意見数 9 件

- ・コロナ支援策はどこの事業者も大変だと思うが、特定事業者のみへの支援ではなく、広く支援したほうが良いと思う。
- ・買物券は私は飲食を外でほとんどしないので日々の食料雑貨品購入に役立つものにしてもらえればありがたいです。
- ・賃金の引き上げ
- ・地域農家の支援
- ・生活費の一時的な貸付（次回の年金支給日に返済する前提）
- ・ガソリン税を下げる、エール券、子育て支援
- ・一律給付金
- ・年収に応じて食料品・灯油代等の補助金
- ・私は一人暮らしで飲食店パートなのですが、昨今のコロナ禍のためシフトも減り収入もかなり減ったのですが、一応住民税を払ってるので2回目の「給付金の資格」がなく経済的に苦しいです。（給与が少ないためそういう収入の少ない人たちに何か補助があれば良いのと思います。

【物価・地域間格差関連】意見数 6 件

- ・釜石は内陸に比べ物価が高い。ガソリン、食料品とか何故こんなに違うのか。
- ・遠野・大船渡の精肉は安い。
- ・鮮魚類が沿岸地区なのに高い。
- ・釜石は全体的に物価が高いと思います。そのために市外に出て買い物をする現況です。
- ・中央との金額差が大きくなってきている。給料も上がる気が全然しません。これから先ますます生活が大変になる。
- ・車を所有しているのでスーパーの使い分けが出来るが鮮度や価格帯が異なる為、市外へ行く事が多い。時間的余裕がない時は不便を感じる。

【高齢者支援関連】意見数 5 件

- ・若年層は市内に実店舗がなくてもネット利用できるので、不満はないと思う。高齢者はネット等の利用も難しい。高齢者の意見を聞ける機会を作ると思います。
- ・年配の方々はスマホがうまく使えずネット注文難しい。特に一人暮らし年配の方への対応が必要と感じる。
- ・イオンスーパーは高齢者にとっても利便性を感じる場所
- ・便利な社会になって大変いいことだと思いますがメカに弱い人間がいることを考えてください。
- ・私自身は市内の買い物環境には満足しています。独居で足腰の弱い叔母は買物に一人で行くことがかなわず、ときどき私が支援していますが、仕事をしているので連れて行ってあげられる機会が限られ、必要な物をすぐに手に入れることができないので大変そうです。

【感染対策関連】意見数 4 件

- ・コロナ検査キットが売切れなので市として包括支援センターなどに置くなど対応して欲しい。
- ・コロナクラスター発生の場合のみその場所を発表してください。その場所付近に近づかないようにする。

- ・手洗いマスクをきちんとする。海開きは良いと思いますがコロナ感染拡大すると心配です。
- ・土日に遠方まで外出できない時はイオンに行くが人が集まってしまう事が不便だと感じた。

【まちづくり関連】意見数 3 件

- ・町の大型商業施設の周りの商店街が活気が少なく、もっと歩いて楽しいのであればいいと思う。
- ・住みたいと思うまちづくり。
- ・歩道が狭いところがあり車とスレスレで怖いところがある。

【その他】意見数 13 件

- ・私たち高齢者は最低でも毎日食べる事が大事だと思う。
- ・購入した商品（食品）を大事に食すること。
- ・今はまだ運転もでき、大型店に行けば何でも揃い便利だと思います。生協でも宅配してくれるようで安心しています。今までもエール券などで助けていただき感謝です。買物では無駄をなくすよう心がけています。
- ・私は今 60 代で車を利用しております。もし何かの事情で車の運転ができなくなった時のことを考えることがあります。近所のお年寄りも近くに八百屋さんが週 1 度同じ時間に来るので杖をつきながらも自分の目で見えてお買い物しています。生協等カタログでお買い物もあるのでそれを利用するのもお買い物方法と考えます。
- ・家族がいるのでまかせている。
- ・今コロナなので病院の帰り、買物とか、用事があって出かけたときとか、大きい物は子供たちに頼むとか。
- ・現在車の運転ができ、不便だと思ったことがない
- ・市内で買えないものはネットで買うので不便はない。
- ・空き家活用し朝市、テット前広場も活用してほしい。一人暮らしが外に出る機会になる。地産地消。
- ・住む場所の選択により買い物環境は大きく異なる。上中島はスーパー、コンビニ、ホームセンターがあり非常に便利。なお、自分は車を持っていない。
- ・食料品は主に近くのスーパーで、それ以外はイオンに出かけて買い物しています。イオンがあってよかったと思います。
- ・食品、精肉、魚類のイメージチェンジ。
- ・性別の設問は必要ないと思います。年代で十分かと思います。

釜石市民買物行動調査 【調査票】

□質問 1 あなたの基本情報について該当する番号に○を付けてください。

(1) 性別

1. 男 2. 女

(2) 年齡

1. 19 歳以下 2. 20 歳代 3. 30 歳代 4. 40 歳代
5. 50 歳代 6. 60～64 歳 7. 65～69 歳 8. 70 歳以上

(3) ご職業

1. 会社員・役員 2. 公務員 3. 自営業
4. 学生(高校生・大学・短大・専門学校生) 5. 無職
6. その他 ()

(4) 家族構成

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と成人していない子供
4. 親と成人した子供 5. 三世帯 6. その他

(5) 居住地区

1. 釜石地区 2. 中妻地区 3. 小佐野地区 4. 甲子地区
5. 鵜住居地区 6. 栗橋地区 7. 平田地区 8. 唐丹地区

(6) 買い物へ行く主な手段 (主なものを1つ)

1. 自動車（自分または同居する家族の運転）
2. 自動車（同居以外の家族親戚の運転）
3. 自動車（近所の人・友人の運転）
4. 徒歩
5. 自転車
6. 原付・バイク
7. 路線バス
8. J R ・ 三陸鉄道
9. タクシー
10. その他（ ）

(7) 携帯電話の種類

1. スマートフォン 2. ガラケー 3. 持っていない



2 ページ目に続きます

□質問2 「よく買い物する地域（手段）」について、それぞれ(1)～(12)の品目ごとに1つ選び、該当する番号に○を付けてください。

よく買い物する地域 品目	(1)実用衣料	(2)高級衣料	(3)下着類	(4)くつ・かばん	(5)家具・インテリア	(6)スポーツ・娯楽用品	(7)書籍雑誌・CD	(8)日用品・台所用品	(9)家電製品	(10)医薬品・化粧品	(11)食料品	(12)外食・喫茶
1. 釜石地区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2. 中妻地区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3. 小佐野地区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4. 甲子地区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5. 鵜住居地区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6. 栗橋地区	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7. 平田地区	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8. 唐丹地区	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9. 生協など地域業者の宅配/ 居住地区の移動販売	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10. 遠野市	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11. 北上市・花巻市	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12. 盛岡市	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
13. 大船渡市	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
14. 大槌町	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
15. 仙台市	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
16. インターネット通販	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
17. その他	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17

□質問3 「市外へ買い物に出かける頻度」について、該当する番号に○を付けてください。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 毎日 | 2. 週に2～3回 | 3. 週に1回 |
| 4. 月に2～3回 | 5. 月に1回 | 6. 三か月に1回 |
| 7. 6より間隔が空く | | |

□質問4 「インターネットの利用」について、該当する番号に○を付けてください。

(1) 過去1年間にインターネット（Eメールを除く）を利用しましたか。

1. 利用した 2. 利用していない [⇒質問5へ]

(2) 過去1年間にインターネットを利用して買い物をしたことがありますか。

1. 買い物した 2. 買い物していない [⇒質問5へ]

(3) 買い物した回数は1年間で何回くらいですか。

1. 1～5回 2. 6～10回 3. 11回以上



(4) どのような商品を購入しましたか。(あてはまるもの全て)

1. 実用衣料 2. 高級衣料 3. 下着類 4. くつ・かばん
5. 家具・インテリア 6. スポーツ・娯楽用品
7. 書籍雑誌・CD 8. 日用品・台所用品 9. 家電製品
10. 医薬品・化粧品

□質問5 「キャッシュレス決済(※)の利用」について、該当する番号に○を付けてください。

※「キャッシュレス決済」とは物理的な現金（紙幣・硬貨）を使用せずに商品・サービスの料金の支払いなどを行うことをいいます（クレジットカード、プリペイドカード、スマートフォン決済など）。

(1) キャッシュレス決済を利用していますか。

1. 利用している [⇒(2)～(6)へ]
2. 利用していない [⇒(7)(8)へ]



(2) 利用しているキャッシュレス決済の方法は何ですか。(あてはまるもの全て)

1. クレジットカード 2. デビットカード
3. 電子マネー／プリペイドカード（具体名 ）
4. スマートフォン決済（具体名 ）
5. その他（ ）

(3) キャッシュレス決済を利用できる場面ではどの程度使っていますか。

1. ほぼ全ての支払い
2. 現金決済と同程度
3. 特定の場面でのみ（公共交通機関利用時、高額決済時など）

(4) キャッシュレス決済を利用している理由は何ですか。(あてはまるもの全て)

1. ポイントや割引
2. 素早い決済
3. 衛生的
4. 財布がかさばらない
5. 現金を引き出す手間や手数料がかからない
6. 手持ちの残金を気にせず買い物ができる
7. 利用履歴がデータとして残るため、家計を管理しやすい
8. その他 ()



(5) どんな場所でキャッシュレス決済を利用しますか。(あてはまるもの全て)

1. スーパーマーケット
2. コンビニエンスストア
3. 個人経営の食料品店
4. ドラッグストア
5. ショッピングモール、デパート
6. 家電量販店
7. 飲食店（チェーン店、大型店舗）
8. 飲食店（個人経営、小型店舗）
9. 美容室、理容室
10. 書店
11. 公共交通機関
12. その他 ()

(6) 品ぞろえや価格などが全く同じ場合、キャッシュレス決済に対応している店としていない店ではどちらを選びますか。

1. 対応している店
2. 対応していない店
3. どちらでもよい

(7) (キャッシュレス決済を利用していない方)

キャッシュレス決済を利用しない理由は何ですか。(あてはまるもの全て)

1. 現金の方が簡単・便利
2. 個人情報の流出など、サービスのセキュリティが不安
3. 必要性を感じていない
4. 利用方法がよく分からない
5. 使いすぎを懸念している
6. 現金を用いない支払いに不信感がある
7. 家計の管理が複雑になる
8. 利用できる場面・店舗が少ない
9. その他 ()



(8) (キャッシュレス決済を利用していない方)

今後、キャッシュレス決済を利用したいと思いますか。

1. ぜひ利用したい
2. 懸念事項が解消されれば利用したい
3. 利用したくない
4. その他 ()

□質問 6 「買い物環境に感じること」について、該当する番号に○を付けてください。

(1) 日常の買い物に不便を感じますか。

1. 感じる 2. 感じない [⇒ (4) ~]

(2) (1) で「不便を感じる」と回答した理由は何ですか。(あてはまるもの全て)

1. 近くに店がない 2. 時間的余裕がない 3. 値段が高い
4. 営業時間が短い 5. 店の駐車場が不便 6. 品揃え（欲しい商品）がない
7. 介護や子どもなどの家庭の事情 8. 足腰など身体に負担が大きい
9. 手伝ってくれる人がいない 10. 交通機関（バス等）が不便
11. その他（ ）

(3)「不便を感じる」のはどのような品物の買い物ですか。(あてはまるもの全て)

1. 生鮮食料品（青果・精肉・鮮魚） 2. お弁当・惣菜 3. その他食料品
4. 衣料品 5. くつ・かばん 6. 家具・インテリア 7. 家電製品
8. 書籍雑誌・CD 9. 日用品・台所用品 10. 医薬品・化粧品
11. その他（ ）

(4) 現在の買い物環境にどの程度満足していますか。

1. 満足している 2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば不満である 4. 不満である

□質問 7 買物弱者（※）の存在が社会問題として注目されていますが、その支援策として次の中から最も便利だと感じるもの上位 2 つを選んでお答えください。

※「買物弱者」とは、流通機能や交通網の弱体化とともに買物環境が悪化し、食料品等の日常の買物が困難な状況に置かれている人々のことをいいます。

1. 電話やFAX、ネット等で商品を注文し、配送（宅配）してもらう仕組み
2. 商店やスーパーが商品を近所の公共施設へ持ち込んで販売する仕組み
3. 商店やスーパーが移動販売車で販売する仕組み
4. 家から気軽にコミュニティバスや乗合タクシーで買い物に行ける仕組み
5. 買い物に同行してもらい、荷物を持ってくれる仕組み
6. 買った品物を自宅まで届けてくれる仕組み
7. その他（ ）



□質問 8 市内の買い物環境について便利あるいは不便だと思った点、あれば良かったと思ったものやサービスなどの他、コロナ禍や物価高騰に対して望ましい支援策などあれば教えてください。（スペースが足りない場合は裏面にご記入ください。）